No 13370

領収証

6年 3月 4日

浜松市議会、
自由民主党浜松（八王子）様

[redacted]325360 円

但 3/3～6 ガソリン代、宿泊費として

内訳
現金 0
小切手
振込

毎度ありがとうございます。上記の通り領収致しました。

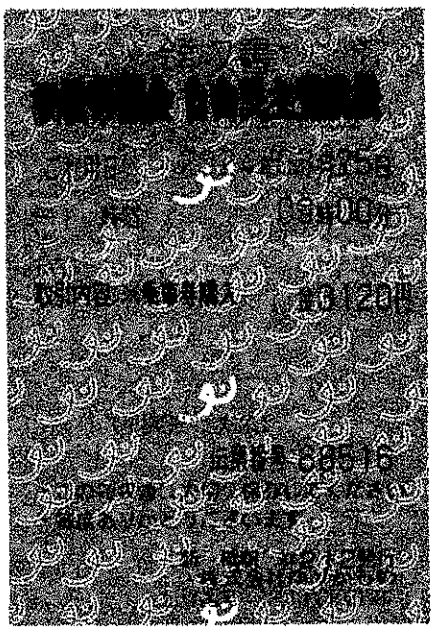
[redacted] 200円

[redacted]
株式会社 サニートラベル
〒433-8125 浜松市中区和合[redacted]3
TEL (053) 47[redacted]
FAX (053) 47[redacted]
T8080401001994

担当 [redacted]

日付	項　　目	人　数	金　　額	
25	ゆりかもめ　新橋～豊洲市場　往復７８０円	4	3,120	①
25	ゆりかもめ　新橋～豊洲市場　往復７８０円	4	3,120	②
26	タクシー　ホテル～総合庁舎	2	1,120	③
26	タクシー　ホテル～総合庁舎	3	1,210	④
26	タクシー　ホテル～総合庁舎	3	1,210	⑤
26	タクシー　総合庁舎～会津若松駅	4	1,750	⑥
26	タクシー　総合庁舎～会津若松駅	4	1,840	⑦
		合　　計	13,370	

3/25　①②





3/26

③

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。
車両番号　　270号
2024年03月26日
乗車料金
¥1120円
立替金
円
（現金・チケット　クーポン）
上記の通り正に領収致しました。
登録番号:T1380001018564 消費税率 10%
葵　観光タクシー
会津若松市インター西8
TEL　0242−37−1533
喜多方市塩川町三吉字西畑21−3
TEL　0241−27−8111

④

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。
車両番号　　272号
2024年03月26日
乗車料金
¥1210円
立替金
円
（現金・チケット・クーポン）
上記の通り正に領収致しました。
登録番号:T1380001018564 消費税率 10%
葵　観光タクシー
会津若松市インター西8
TEL　0242−37−1533
喜多方市塩川町三吉字西畑21−3
TEL　0241−27−8111

⑤

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。
車両番号　　41号
2024年03月26日
乗車料金
¥1210円
立替金
円
（現金・チケット・クーポン）
上記の通り正に領収致しました。
登録番号:T1380001018564 消費税率 10%
葵　観光タクシー
会津若松市インター西8
TEL　0242−37−1533
喜多方市塩川町三吉字西畑21−3
TEL　0241−27−8111

⑥

領収書

毎度ご乗車ありがとうございます。
車両番号　　206号
2024年03月26日
乗車料金
¥1750円
立替金
円
（現金・チケット・クーポン）
上記の通り正に領収致しました。
登録番号:T1380001018564 消費税率 10%
葵　観光タクシー
会津若松市インター西8
TEL　0242−37−1533
喜多方市塩川町三吉字西畑21−3
TEL　0241−27−8111

⑦

計算書

毎度ご乗車ありがとうございます。
車両番号　　233号
2024年03月26日
乗車料金
¥1810円
立替金
円
（現金・チケット・クーポン）
登録番号:T1380001018564 消費税率 10%
葵　観光タクシー
会津若松市インター西8
TEL　0242−37−1533
喜多方市塩川町三吉字西畑21−3
TEL　0241−27−8111

お客様No. 0099

請　求　書

No. 1-1

24 年 3 月 15 日 締切分 (30)

<静岡県知事[redacted]第2-370号>
株式会社サニートラベル
〒433-8125
静岡県浜松市中区和合町936番地の503
TEL 053-476-0432
FAX 053-476-0565
担当者 [redacted]
登録番号：T8080401001994

浜松市議会　自由民主党浜松（A班）　御中

TEL:　　FAX:

前回御請求額	繰越金額	調整額	御入金額	御買上額	内消費税等	今回御請求額
			0	325,360	29,578	¥325,360

伝票日付	伝票No.	品名	数量	単価	金額	税率
24/ 3/14	137	2024年3月25～26日				
		ＪＲ代	8	35,880	287,040	*10.0%
		ＪＲ代（あいづ3号自由席）	1	35,350	35,350	*10.0%
		取扱手数料	9	330	2,970	*10.0%
		【合　　計】			325,360	
		(内消費税等)			29,578	
		税率　課税対象額　消費税等				
		10.0　¥295,782　¥29,578				

注)※印は軽減税率(8%)適用商品

下記の口座に指定の期日までにお振込みください。
振込手数料は貴社(貴方)ご負担にてお願い申し上げます。

取引銀行	静岡銀行	葵町支店	普通預金	０３４６１９３
	浜松いわた信用金庫	和合支店	普通預金	０６４８１８０
	遠州信用金庫	本店営業部	普通預金	１０８０１６２
	株式会社サニートラベル			

送付御案内

6年3月14日

自由設計浜松 御中

日頃は格別のお引き立てを賜り
厚く御礼申し上げます。
下記のものを御送付致しましたので、
御確認の程宜しくお願い申し上げます。

株式会社 サニートラベル
〒433－8125
静岡県浜松市中区和合町936番地の503
TEL：(053)476-0432
FAX：(053)476-0565
担当 [redacted]

【】ご送付内容

1	書類	6	パンフレット
2	航空券	7	請求書
3	旅券	8	領収書
4	クーポン券	9	
5	切符	10	

よろしくお願いします。
JRの明細です。

- 乗車券（浜松～会津若松 往復） 17620円
- 指定席特急券（浜松～東京 往復） 8260円 @4130円×8名
- 指定席特急券（東京～郡山 往復） 8940円
- おとな指定席券（郡山～会津若松 往復） 1060円
  （1名分） △530円
  往路（新幹線）、復路のみ指定 @5330円×1名

Sunny Travel Co.,Ltd

（様式８）

令和 ６ 年 ２ 月２７日

会派名　浜松市議会 自由民主党浜松
代表者　 会 長　鳥井　徳孝　様

会派名　浜松市議会自由民主党浜松
氏　名　視察Ａ班幹事　井田　博康 [redacted]

出　張　届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

１　出張者

髙林　　修 議員	須藤　京子 議員	平野　岳子 議員
井田　博康 議員	久米　丈二 議員	露木里江子 議員
小野田康弘 議員	神間　郁子 議員	辻村　公子 議員

（計９名）

２　期間及び出張先

令和 ６ 年 ３ 月２５日（月）～　３ 月２６日（火）　２日間

東京豊洲市場　・　会津若松市

３　目的

東京豊洲市場　：　①中央卸市場豊洲市場の役割について
②観光市場としての役割や取組について

会津若松市　：　会津若松市スマートシティの取組について

視察依頼書送付願

令和 ６ 年 ２ 月27日

浜松市議会議長 戸　田　　誠　様

会 派 名　浜松市議会 自由民主党浜松
代表者氏名　会長　鳥井　徳孝 [redacted]

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

自由民主党浜松Ａ班視察日程表

視察日程　令和６年３月２５日（月）～２６日（火）
視 察 先　東京豊洲市場・会津若松市
視 察 者　髙林修　須藤京子　平野岳子　井田博康　久米丈二
　　露木里江子　小野田康弘　神間郁子　辻村公子

３月 ２５日 （月）	【集合：浜松駅新幹線改札口前７：１０集合】 浜松駅 ７：２３＝＝＝８：３４品川駅＝＝＝８：４７新橋駅＝＝＝ゆりかもめ （ひかり６３２）　（山手線）　（ゆりかもめ） ９：２５市場前駅（徒歩） ＜視察＞　１０：００～１３：００ **調査項目** ・中央卸市場豊洲市場の役割 ・観光市場としての内容 １３：００市場前駅＝＝＝新橋駅＝＝東京駅１４：３６ （ゆりかもめ）（山手線） ＝＝＝１５：５７郡山駅１６：１５＝＝＝会津若松駅１７：２１徒歩 （やまびこ６５）　（あいず５） **《会津若松市・泊》**	豊洲市場担当者 （昼食）豊洲市場内 豊洲千客万来（各自） （夕食）会津若松市内 【宿泊】アルファーワン会津若松 福島県会津若松市駅前町５－８ TEL０２４２―３２－６８６８
３月 ２６日 （火）	【集合：ホテルロビー 8:15】 ホテル9：09＝＝＝１０：００ ＜会津若松市役所＞　10:００～12:00 **調査項目** 会津若松市スマートシティーの取り組み 会津若松駅１３：３０＝＝＝１４：３６郡山駅１５：０６＝＝ （あいず４）　（やまびこ６２） １６：２４東京駅１７：０３＝＝＝１８：３１浜松駅 お疲れ様でした	会津若松市議会事務局 担当者： ℡ （昼食）会津若松駅周辺 （各自）

（様式11）

A 030/

令和 6 年 3 月31日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　会長　鳥井　徳孝　様

報　告　書

出張年月日	令和 6 年 3 月25日（月）～ 3 月26日（火） 2日間
出　張　先	東京豊洲市場 ・ 会津若松市
出張の理由	会派行政視察（A班） 【東京豊洲市場】中央卸売市場の役割について 観光市場としての役割や取組みについて 【会津若松市役所】会津若松市スマートシティの取組みについて
出張者 氏名印	高林　修[redacted]　須藤　京子[redacted]　平野　岳子[redacted] 井田　博康[redacted]　久米　丈二[redacted]　※欠公務、露木里江子[redacted] 小野田康弘[redacted]　神間　郁子[redacted]　辻村　公子[redacted] （計 9 名）

（出張の顛末）

別紙　報告書の通り

※やむを得ず理由により3/25,26視察出来ず報告書無.

（備考）

自由民主党浜松視察報告書

井田博康

視察日程　令和6年3月25日（月）～3月26日（火）

視 察 先　東京都豊洲市場・会津若松市

視察内容　・豊洲市場について
・会津若松市スマートシティの取組みについて

視察議員　高林　修、須藤京子、平野岳子、井田博康、久米丈二、露木里江子、小野田康弘、神間郁子、辻村公子

視 察 日　令和6年3月25日（月）

視 察 地　豊洲市場
東京都江東区豊洲6-6-1

調査目的　①中央卸売市場豊洲市場の役割について
②観光市場としての役割や取り組みについて

説　明

中央卸売市場は、毎日の生活に欠かすことのできない水産物・青果物・食肉・花きなどの生鮮食料品等を円滑かつ安定的に供給する流通拠点で、東京都では11の中央卸売市場が、国内外から大量に多品種の品物を集め、公正かつ迅速な取引により、都民をはじめとする消費者の食生活と暮らしを支えている。中でも大田市場は青果物に関しては日本最大の取扱量である。

豊洲市場は、平成30年10月11日に開場し、50年先まで見据えた首都圏の基幹市場として築地市場が築いてきた歴史と伝統を継承・発展させていくことで、市場の魅力・ブランド力を高めていく４つのポイントを目指して作られました。

１つ目は「食の安全・安心の確保」です。以前の開放型から閉鎖型施設にすることによって商品特性にあったエリアごとの適温管理が可能となるほか、外気や虫、ホコリの流入を抑制することができるようになりました。

２つ目は「省エネに取り組む環境への配慮」です。都内最大級の太陽光発電などの自然エネルギーを活用するとともに、外気冷房システムやLED照明などの省エネ機

器の導入や、緑化も行っていくようにしています。

３つ目は「効率的な物流の実現と新たなニーズへの対応」です。卸売場や仲卸売り場付近に駐車スペース、荷捌きスペースを配置することにより、円滑な物流を実現しました。また、新たなニーズへの対応として、専門小売店、食品スーパー等から求められる加工・小分け・包装等ができる加工パッケージ施設を整備した。

４つ目は「地域と連携し活気と賑わいの創出」千客万来施設事業をはじめ、豊洲地区の外周を囲む豊洲ぐるり公園と一体的に屋上緑化広場を開放するなど、地域の賑わい創出に取り組んでいます。来場者は年間２６０万人を見込んでいる。

築地市場に比べ豊洲市場は面積的には１.８倍であるが鉄道輸送中心からトラック輸送中心に移行し駐車場部分の面積が増え、店舗面積はほぼ変わらないとのことでした。

その他千客万来や飲食店舗、見学者コースやPRコーナーを見学しました。また、仲卸の方々の作業スペースや屋上緑化広場も見学させていただきました。

所　感

入荷のトラックと仲卸のトラックの出入り口が決まっていて渋滞が起きないような配慮がなされていてとても分かりやすかった。また、千客万来や飲食店舗、見学者コースやPRコーナーの来場者は電車の駅やバスの停留所が分かりやすいところに配置されていて海外からの観光客にも配慮しているように思えました。

市場の中は見学の時間が遅かったので店舗が締まっているところが多かったが空き店舗はほぼ見当たらなかった。浜松の市場と比べてはいけないが、店舗を利用したくなるような運営を考える必要があると感じた。

市場の機能として関連事業者として、市場利用者のための関連食料品や包装資材、梱包や運送等のサービス期間を置くことは、小規模の市場利用者や場外での販売にも利用できると思うので、今後の計画の中で検討していく必要があると考える。

豊洲場外江戸前市場と温浴施設の万葉倶楽部は、交通アクセスや立地、用途地域等の問題があり、浜松の中央卸売市場には当てはまらないと思いますが市場の一部に場外市場のような施設は取り入れることができると思う。

豊洲も京都の中央卸売市場も市場の機能だけではなく、見せる・学ぶ・感じる（食べる）要素があって活気を感じられる施設であることが重要であると思った。生鮮食品や土産物などが購入できる場外の店舗や飲食ができる店舗が併設されると人が集まり活気が出てよくなると思った。人を集めるための万葉倶楽部のような温浴施設などの併設は有効であると感じた。

視 察 日　　令和６年３月26日（火）

視 察 地　　会津若松大手町第２庁舎１階
福島県会津若松市大手町2-41

調査目的　　会津若松市スマートシティの取組みについて

説　　明

会津若松市が計画した事業は、市民生活に関わる多くの分野を「食・農」「観光」「決済」「ヘルスケア」「防災」「行政」の６つの分野でICTやデジタル技術を活用したサービスの取り組みを進めている。これまで市が進めてきた事業の中で、早い時期にサービスの開始が可能であると見込まれるものである。これらのサービスがバラバラにならずに一体的に進められるよう、これまで活用してきた「会津若松＋」をベースに、データ基盤の整備や改修を行っていく。「デジタル田園都市国家構想推進交付金」による支援を活用し、令和４年10月以降順次サービスを開始している。

デジタル田園都市国家構想推進交付金ポイントは３つあって１つ目は、ICTの活用や会津大学との連携による地域課題の解決で、しごとづくりや企業集積の好循環を育てる。２つ目は今までの「会津若松＋」で取り組んできた成果を活かし、今後は官民・民民連携での複数のサービス提供を進める。３つ目はスマートシティ AiCT(ｱｲｸﾄ)やAiCTコンソーシアムを最大限活用することを重点に置いている。

「食・農」の分野においては、地元農家の生産情報と市内飲食店などの需要を引き合わせ、直接農産物の取引ができるサービスを提供している。令和４年10月から、需給マッチングアプリ「ジモノミッケ」で農家約30人と飲食店・宿泊施設など約30軒で取引が始まっている。

「観光」の分野においては、観光支援サービス「Visitory」（ﾋﾞｼﾞﾄﾘｰ）として視察や観光だけでなく市民の皆さんも市内の飲食店や一部の店舗のリアルタイムの営業情報を見ることができるサービスが始まっている。また、在宅ケア支援アプリにより本人の情報を家族やケアセンターが共有できるようになった。

「決済」の分野においては、デジタル地域硬貨「会津コイン」を使ったキャッシュレス決済で買い物情報と連携し、アプリで健康情報を提供する。令和５年度会津若松市プレミアムポイント事業として令和５年12月～令和６年２月末までの期間でプレミアム率25%（10,000円で12,500ポイントが買える）の事業を行った。この事業は、

市民はポイントが付かない代わりに 25%分の消費がお得になり、店舗は PAY PAY などを利用された場合は手数料を約 3%払わなければならず、加えて PAY PAY などからの入金が遅れるが「会津コイン」は即日入金されるので店舗も得をする。行政は手数料の約 3%が市内の消費に回っていく為、市民・店舗・地域の三方良しに繋がる。

「ヘルスケア」の分野においては、家庭血圧や医療情報をアプリを使って自動で管理・閲覧できると共に、医療機関とも連携できる。令和 4 年 10 月から高血圧者向けオンライン診療サービスを開始した。

「防災」の分野においては、自主防災に取り組む町内会と共に、防災アプリの開発を進め、令和 5 年 3 月からスマートフォンの位置情報を使って災害時の家族の安否確認や避難所への誘導を行うサービスが可能になっている。

「行政」の分野においては、オンラインの申請や、市が持つ住所や氏名などの情報を自動で申請書に記載する「書かない」サービスを提供している。引っ越しに伴う各種手続きで「ゆびナビぷらす」を利用して、スマートフォンでの申請書の事前作成や窓口でのタブレット入力で「書かない」申請が可能になった。

産業面やコミュニティ面ではデジタル技術とを農業に取り入れ、特に水分量の管理して AI が水をまくなどの研究がなされている。また、ドローンを活用した農薬の散布も並行して進めている。コミュニティの面では高校生が小学生にプログラミングを教える事や会津ラボ事業として協働センターなどで高齢者にスマートフォンの使い方を教えたりして他世代間交流を生んでいる。中山間地域の市役所からの情報、地域防災情報、地域デマンドバス情報、高齢者の見守りに関しては、みなとチャンネルというテレビを利用したサービスを展開している。

会津若松市として長年に渡り懇願していた理数系の 4 年制大学が 1993 年にコンピューター専門大学として公立の会津大学が開設された。元々は富士通の向上が多くあった場所に創設され、酒のデジタル分析などの酒蔵の企業との連携により 9 年連続新酒の部門で金賞を取るなど地元企業にも大きく影響を及ぼしている。

会津大学はコンピューターに特化した大学であることから協議プログラミングが盛んで、2009 年 ACM 国際大学対抗プログラミングコンテスト世界大会で世界 88 か国 1838 大学が参加し 49 位対の成績を上げるなどその後も活躍している。

このような状況下の基、TIS インテックグループの TIS 株式会社（本社：東京都新宿区）スマートシティの取組みで先端を走る会津若松市の ICT オフィス「AiCT(アイクト)」内にプロジェクトルームとして拠点を開設することを発表した。AiCT コンソーシアム 2021 年 6 月に設立され、キャッシュレス、ロボティクス、ヘルスケア分野の新たなソリューション創出を目指している。現在では、都心の企業から市内に機能を移転

したICT関連企業と地元企業が連携し、地域におけるDXを推進している。

所　感

会津若松市が計画した事業は、市民生活に関わる「食・農」の分野での需給マッチングアプリはロスが少なくとても合理的であると思う。今はまだ30件程度であるがこれが増えれば従来の流通ルートが大きく変わってくるように感じる。兼業でやっているような生産量の少ない農家には効果的であると感じた。

「観光」の分野での「Visitory」（ﾋﾞｼﾞﾄﾘｰ）では主に食や土産に重点を置いている様であるが、本市も同じ様な事は既に行っているが会津には無いマリンレジャーやマリンスポーツの体験などの分野もプラスして、どこに行けばいくらで体験できるなど、写真付きで試してみれば新たな流れができると思った。

「決済」の分野でのデジタル地域硬貨「会津コイン」を使ったキャッシュレス決済での会津若松市プレミアムポイント事業はコロナ渦の時の飲食店救済のための施策を思い出させるような事業で、市民・店舗・地域の三方良しに繋がる素晴らしい事業であると感じた。

「ヘルスケア」の分野については本市では中山間地向けにオンライン診療を進めているが会津若松市のように中山間地以外の市民向けに展開することも良いことだと感じた。

「防災」分野についてはスマートフォンの位置情報を使って災害時の家族の安否確認や避難所への誘導を行うサービスは本年起きた能登の震災のような大きな震災が起こった時に本人の位置情報が分かる事は救急活動に大きくプラスに働くと考えられるので本市でも取り入れるべきであると感じた。家族の安否確認や避難所への誘導も重要な事であると思うので実際に避難訓練もこのサービスを利用して行ってみたいと感じた。

「行政」の分野では本市が進めているサービスと同じような感じではあるが、会津ラボ事業として協働センターなどで高齢者にスマートフォンの使い方を教えたりして他世代間交流を生むような高齢者の後押しをしながら世代間交流を図る事業は素晴らしいと感じた。また、中山間地域の市民のために、「みなとチャンネル」というテレビを利用したサービスを展開している事には驚きであった。

会津大学が創設し学生が集まり、2009年ACM国際大学対抗プログラミングコンテスト世界大会以降の活躍があり、TISインテックグループのTIS株式会社（本社：東

京都新宿区）がスマートシティの取組みで先端を走る会津若松市に注目し拠点を開設することを発表した。AiCTコンソーシアム2021年6月に設立された。この一連の流れの中で会津若松市にとってのスマートシティの推進が今後も、もの凄いスピードで進んで行くのだろうと感じた。会津大学には優秀な人材が集まり、その人材と市の方針の基、企業が集まり、そして地元企業との連携のにより市民生活が良くなる。素晴らしい事業であるとつくづく感じました。

自由民主党浜松Ａ班視察

久米丈二

視察日程　令和６年３月２５日（月）～２６日（火）

視察先　　東京都豊洲市場、福島県会津若松市

視察日　３月２５日（月）

視察先　東京都中央卸市場豊洲市場

視察項目

・中央卸市場豊洲市場の役割

・観光市場としての内容

説明

豊洲市場は東京都江東区豊洲六丁目にある公設の御売市場で、東京都内に１１カ所ある東京中央卸売市場の一つで築地市場の代替施設として建設され、競りの見学、イベント、物販・飲食店舗については小売・飲食店関係者以外の一般消費者や観光客も利用できる市場として、平成３０年１０月１１日に会場した。
その背景は、築地市場の衛生面・老朽化などの問題により建て替えが必要となり、銀座などの立地の良さと土地の広さなどを鑑み、２０１４年を目安に江東区豊洲への移転を検討していた。
東京都側と築地市場業界との協議機関として、新市場建設協議会が設置され２００４年7月には豊洲新市場基本計画が策定された。
移転先予定地は東京ガスの施設が立地していた土地で、土壌汚染等が発覚し、有害物質が国の環境基準を超えており、こうした安全・衛生面や移転に伴う経費等の負担への不満、築地に対する愛着を抱く一部仲卸などにより、移転反対運動が行われたが安全面での対応として、２０１２年度より豊洲新市場土壌汚染対策工事およびそれに関する技術者会議を行なった。

土壌汚染対策のために開場時期は何度も延期され、新たな土壌汚染問題の発覚などを理由に２０１６年８月３１日に小池百合子都知事が開場を延期することを表明し、複数回の調整を経て開場日は２０１８年１０月１１日となった。
搬入搬出はトラック輸送による搬出入がメインに考えているが、築地市場時代と同じく海上輸送にも対応しており、市場北側の晴海運河南岸に全長１５０㍍級の桟橋が整備され、搬入が可能となっている。
豊洲市場の特徴として、５０年先まで見据えた首都圏の基幹市場として、築地市場が果たしてきた豊富で新鮮な生鮮食料品流通の円滑化と価格の安定という機能に加え、消費者の意識が高まっている食の安全・安心の確保、効率的な物流の実現など、産地や顧客・消費者の様々なニーズにも対応し、環境に配慮した先進的な市場とすることとともに、築地市場の築いてきた歴史と伝統を継承・発展させていくことで、豊洲市場の魅力＝ブランド力を高めていくことを目指している。

所感

豊洲市場は、４つの重要ポイントとして食の安全・安心を確保するために、閉鎖型施設の特徴を活かして、商品特性にあったエリアごとの適温管理が可能となるほか、外気や虫、ホコリの流入を制御することができ、また、衛生管理にも十分配慮している。
省エネに取り組み環境に配慮とし、都内最大級の太陽光発電など自然エネルギーを活用するとともに外気冷房システムやLED照明などの省エネ機器の導入や、緑化も行っている。効率的な物流の実現と新たなニーズへの対応とし、御売場や仲卸売場付近に駐車スペース、荷捌きスペースを配置することにより、円滑な物流を確保し、また、専門小売店、食品スーパー等から求められる加工・小分け・包装等ができる加工パッケージ施設を整備している。地域と連携し活気とにぎわいを創出とし、千客万来施設事業をはじめ、豊洲地区の外周を囲む豊洲ぐるり公園と一体的に屋上緑化広場へお解放するなど、地域のにぎわい創出に取り組んでいる。
規模は大いに違うが、本市の計画している中央卸市場改築への視察目的であるこの豊洲市場は、市場内見学者コース（スペース）や、そこで取引されている生鮮食品を使った飲食店や物販店など大いに参考になる施設で、本市の市場も観光・浜松パワーフードを使っての飲食店整備など取り入れる点は大いに参考になった。

視察日　　３月２６日（火）

視察先　　会津若松市

視察項目　会津若松市スマートシティの取り組みについて

説明

スマートシティ会津若松の取り組みは、東日本大震災からの復興を考える中で、会津若松市にコンピュータサイエンス専門の会津大学があるという強みをいかしていこうという思いから始まり、また、人口減少、特に若者の流出という課題に対して、地方であっても都市部と代わらない利便性と快適性を目指しつつ、新しい仕事や雇用を生み出し、魅力的な町にしていくことを実現するための手段として、デジタル技術を活用した取り組みを進めてきた。
平成２５年２月、会津若松市では、市の政策の方針を示す施政方針と本市の活力再生の施策をあげた地域活力の再生に向けた取り組み～ステージ２～においてスマートシティ会津若松の推進を掲げ、以来、関連する取組を進めてきた。
また、平成２９年度からの１０年間を計画とする会津若松市第７次総合計画では、計画全体を貫く３つのコンセプトのうちの一つ、つなぎ続くまちへ、の中でスマートシティ会津若松を市政運営全体の向上のために有効な手段として位置づけ、ICT や環境技術などを、健康や福祉、教育、防災、さあらにはエネルギー、交通、環境といった生活を取り巻く様々な分野で活用し、将来に向けて持続力と回復力のある力強い地域社会と、安心して快適に暮らすことのできるまちづくりを進めていくものであり、これらの取り組みのうち、特に地方創生に関するものについては第２期会津若松市まち、ひと、しごと創生総合戦略としてとりまとめており、ICT を活用したまちづくりを積極的に推進することにより、雇用の創出や人口の維持、ひいては地域経済の活性化を図っていき、令和４年度からはスマートシティ会津若松の発展・深化に向けて、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、データ連係基盤を通じた様々な分野のデジタルサービスの提供を産学官連携で進めている。

所感

会津若松市では、三方良しの実現に目指したスマートシティの取り組みをしている。
三方良しとは、商売をする上で、売り手と買い手が満足するのはもちろん、地域社会に貢

献してこそ良い商売といえる、という江戸時代中期の近江商人の考え方で、現在提供されているデジタルサービスの多くは、欲しい情報の検索や支払いも簡単にできて便利な一方買い物などの購入履歴や手数料は、そのサービスを提供する大手企業に集まり、地域の外に出てしまっている。
スマートシティ会津若松の取り組みでは、単なるデジタル化ではなく、地域にデータもお金も残すことが出来る、三方良しの新しい地方から実現していくことを目指している。
今後、人口が減少していく社会では、デジタルを活用した効率化と利便性の向上が必要になってきます。一方で、市民の皆様にデジタルサービスを気軽に使ってもらうようになるためには、サービスのさらなる改善や体験の機会がまだまだ必要で、そこで、市では令和４年度に地区別の体験説明会や意見交換会などを開催してきた。
今後も、このような機会を通して、新しいデジタルサービスの体験から浸透、そして利用者の拡大への好循環につなげていきたいとしている。
特に、TIS、会津若松のICTを活用オフィスアイクトに大手企業に貸し出し、拠点を開設しキャッシュレス、ロボテイクス、ヘルスケア分野の新たなソリューション創出と社会課題の解決を目指している。
本市浜松にも、デジタル・スマートシティ推進部でこれにあたっているが、会津若松市の取り組みは全体に同時進行している事業で、本市浜松は各事業単独で取り組んでいるように見受けられる。
本市浜松としても、鉄道、東名高速道路、新東名高速道路、公共交通網、地域性など好条件に恵まれているので、大いに参考にしてデジタル・スマートシティ事業を一体推進していくべきと感じた。

視察報告書

令和６年３月31日
自由民主党浜松
髙林　修

視察日程　　令和６年３月25日（月）

視察先　　東京豊洲市場

視察項目　　中央卸豊洲市場の役割及び観光市場としての内容

対応者　　望月氏　静岡市出身　東京都職員

視察内容　　◎　豊洲市場概要

① 2018年10月11日開場、当初の2014年開場予定が大幅に遅れたのは、耐震性、敷地の土壌汚染、市場の建物地下が空間になっていて地下水のシアン、ヒ素などの含有量が環境基準値を超えているなどの問題がクリアされるのに時間を要したためである。

② 総敷地面積40.7ha,青果棟（地上３階建）卸売場棟（地上５階建）水産卸売市場（地上５階建）及び管理施設棟（地上６階建）に区画されている。卸売業者の面積使用料は東京都が運営する他の10市場と同等となっている。アクセスとしてはゆりかもめ市場前駅で下車、他に路線バス、都営地下鉄も利用できる。

③ 水産物の卸売業者７社、仲卸業者468業者、売買参加者292業者

④ 青果物の卸売業者３社、仲卸業者95業者、売買参加者512業者

⑤ また観光客を対象とした2024年２月開業の商業・観光施設「千客万来」や水産卸売場棟などに業者のための飲食店、物販店があるが、観光客も利用でき、視察日は大賑わいであった。

◎ 質疑応答

① 開設からの見学者、（海外観光客含む）の数の推移については2019年当初は年間40万人であったが、コロナの影響で激減し、ようやく2023年は12万人（海外１万人）まで回復した。改めての目標値は260万人としている。

② 市場輸送関連業者、千客万来関連業者と来場者に対してのアクセス、ゾーニング・動線への配慮については、多少のバッティングはあるが、案内表示と警備員で対応している。

◎ 所感

豊洲市場が掲げる 4 つのポイントは①食の安全・安心の確保②環境に配慮した省エネ取組③効率的な物流の実現と新たなニーズへの対応④地域と連携し活気とにぎわいを創出である。浜松市が予定している新卸売市場建設において①から③を参考にすべきはもとよりであるが、④の実現は困難であるが、地域との連携や新卸売市場の観光資源として可能性を少しでも引き出すことも重要である。

視察報告書

令和６年３月31日
自由民主党浜松
髙林　修

視察日程　　令和６年３月26日（火）

視察先　　会津若松市

視察項目　　会津若松市スマートシティの取り組み

対応者　　企画調整課スマートシティ推進室　本島　靖　室長

内容　　会津若松市も平成７年の13万７千人の人口が令和６年２月には11万２千人まで減少した。少子化の自然減もあるが、30歳代までの転出超過が多く、2060年には７万人を切ることが懸念されている。そこで平成25年から、市民、地域、企業の三方良しの地域社会の実現を目指し、生活に関わるあらゆる分野で、ICT や環境技術などを活用したスマートシティの取組を推進することとした。

◎ 魅力的なしごとづくり（企業）
2019年４月に開所したスマートシティ AiCT に、首都圏大企業と地元のICT関連企業が入居し情報共有および交流を図った。発展的に2021年６月に AiCT コンソーシアムが設立され、市、コンソーシアム、公立会津大学（1993年創立、学位論文はすべて英語）３者連係の魅力的仕事の創生を図る。

◎ 快適で安全・安心な暮らしの実現（市民）
簡単・迅速な行政手続き（書かない・待たない・行かない）。健康情報の自己把握・気軽に相談できる環境（オンライン診療など）づくり

◎ データ等によるまちの見える化（地域）
除雪車の位置情報や母子健康情報を還元、まちの状態を可視化することで効果的・効率的に行政を運営する。
ここで注意すべきは個人情報の取り扱いで事前に本人の同意を得る「オプトイン型」のデータ活用するとしている。

など、産地や顧客も含めたニーズに対応しているといえる。さらには、環境に配慮した先進的な市場を目指している。
環境への配慮では、都内最大級の太陽光発電パネルを設置して、自然エネルギーを活用するとともに外気冷房システムやLED照明などの省エネ機器の導入、屋上緑化の取り組みも行っている。ただ、太陽光発電については使用電力量も多いため、自給率は2%程度にとどまっているという。
時間の制約もあり、見学できたのは水産関係棟にとどまり、青果棟の見学はかなわなかったが、ほかの都内10市場と相互に補完しながら流通ネットワークを形成していることを興味深く聞いた。
市場見学終了後には、2月1日に開場した「千客万来」も見学したが、春休みということもあり、また外国人観光客の人気もあるということで、かなりの盛況ぶりであった。

本市においては、今後の再整備に向けて中央卸売市場再整備基本計画が策定されているが、細かいことを言えば、見学コースの設定や喫煙所の扱いについては未検討の状態であるようだ。本市中央卸売市場も市民にも開かれた市場となるように今後の進捗を見守りたい。

② 会津若松市スマートシティの取り組みについて

会津若松市は人口12万人ほどの市であり、昔ながらの落ち着いたたたずまいの地方都市でありながら、スマートシティの取り組みとしては、小回りの利く規模での先進事例として注目を集めていると聞く。全国的に各地で取り組みが進められているスマートシティの取り組みは本市においても進められているが、人口減少や少子高齢化また若者の都会への流出等といった課題は共通でありながら、取り組みの違いなどについての研修を行った。

まず訪れた市役所仮庁舎で、スマートシティの取り組みの内容については、スマートシティ推進室本島室長から説明を聞いた。

この取り組みは、東日本大震災からの復興を考える中でコンピューターサイエンス専門の会津大学と連携をし、地方にあっても新しい仕事や雇用を生み出す魅力的なまちづくりにデジタル技術を活用するために始められた。ここでは、デジタルの力で安心・快適な生活を手に入れる市民と地域のデータを活用した新しい仕事・魅力的なまちづくりを行う地域、そして新たなデジタルサービスの提供を行う企業の「三方良し」を狙った取り組みとなる。具体的には、ヘルスケア、モビリティ、食・農、決済、エネル

ギー、観光、行政、廃棄物、地域活性化、防災、教育、ものづくりの12分野で「スマートシティ会津若松」の実現を目指す。

会津若松市がこのようなスマートシティを目指す理由の一つには、便利さだけではなく、一般的なデジタルサービスでは、手数料などが地域外に出て行ってしまうので、デジタル地域通貨をはじめ地域にお金や情報が残りそれを利用して新しい仕事が生まれるなど地域全体が元気になる仕組みを目指しているという。

令和4年度からは先の12分野のうち、食・農、観光、決済、ヘルスケア、防災、行政の分野での取り組みが始まっている。中でも食・農分野の生産者と飲食店や宿泊施設とをつなぐ需給マッチングアプリやデジタル地域通貨「会津コイン」に興味を持った。デジタル地域通貨については、一般的な電子決済とは違い、消費者にポイントなどの付与はできないが、導入する店舗側にとっては、手数料が全国規模のものと比べて安いという利点があるため、それを消費者に還元することで利用者増を狙っているという説明であった。

こうした取り組みは非常に斬新に感じられ、人口も都市の規模も小回りが利き市民感覚を間近に感じられる当地ならではの取り組みであると感じた。

本市の場合は、人口も多く面積も広大であるため、事業としてのデジタル化のメリットを考えがちではないかということも併せて感じたところである。確かに本市のデジタルスマートシティの取り組みも、他都市からの視察を多く受け入れるほど、注目されるものではあるが市民の立場に立った利便性について考えてみることも必要ではないかと思わされた。

座学での説明の後は、AiCT（アイクト）と呼ばれる施設を見学させていただいた。AiCTは、首都圏などのICT関連企業が機能移転できる受け皿として整備されたオフィス環境であり、すでに多くの企業が入居している。首都圏からの新たな人の流れは新たに若年層の地元定着に繋がり、地域活力の維持発展を目指しているという。この施設内には、会津コインを利用できる無人店舗もあり、施設内で勤務する人たちに利用されている。

今回の視察では、本市の中央卸売市場の将来像について思いを巡らすこともでき、またデジタルスマートドシティを目指す本市との視点の違いなどにも気づくことができた有意義な視察であった。

以上

自由民主党浜松A班視察報告書

平野　岳子

▶ 視察日　：　2024年3月25日(月)～26日（火）
▶ 視察先　：　東京都豊洲市場・会津若松市

---

① 3月25日（月）

視 察 先 ： 東京都豊洲市場
視察項目 ：・中央卸売市場の役割
・観光市場としての内容

【説 明】

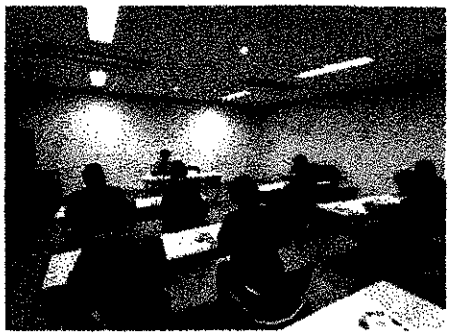


平成30年10月11日に開場した豊洲市場は、50年先まで見据えた首都圏の基幹市場として、築地市場が築いてきた歴史と伝統を継承・発展させていくことで魅力＝ブランド力をたかめていくことを目指している。

魚河岸の名で親しまれた東京都中央卸売市場築地市場だが、８０年以上の長きにわたり巨大都市東京の食生活をささえ続け、平成30年10月６日に閉場した。その築地市場のこれまでの歩みを簡単にまとめると、昭和10年２月、築地に広さ約23万平方メートルの東京都中央卸売市場が開設された。市場へ集まる生鮮食料品は旧汐留駅から引き込線を通して「貨物列車」で、また隅田川岸壁の桟橋から「船」で運ばれてきた。市場は迅速、公正な取引を展開し、取引の結果を公表して価格を安定させ、市民生活を支える大きな力となった。

その後、昭和１０年より利用されてきた築地市場内の国鉄東京市場駅は、「トラック」の普及や「高速道路網の整備」などのため取扱量が減少し、昭和６２年１月３１日に廃止された。

東京都中央卸売市場は首都圏の食生活をまかなう生鮮食料品などの流通の一大拠点に発展。中でも築地市場は日本最大の市場になり、平成２９年実績で、一日平均2,455トンの魚や野菜などが入荷し、およそ２０億円が取引されていた。一方で、建物の老朽化などから現在地再整備・移転の検討がスタート。長い年月をかけ豊洲への移転が決定。移転延期を経て平成３０年１０月１１日に豊洲市場が開場した。



◆豊洲市場の特徴は４つのポイントがある。
① 食の安全・安心を確保
② 省エネに取組み環境に配慮
③ 効率的な物流の実現と新たなニーズへの対応
④ 地域と連携し活気とにぎわい創出

◆東京都の組織：正規職員５８名、非常勤８０名程
◆関係業者
①水産物：卸業者７社（せり人数５３０人）、仲卸業者４６８業者、
売買参加者２９２業者
② 青果物：卸業者３社（せり人数１２４人）、仲卸業者９５業者、
売買参加者５１２業者
③ 関連事業者：流通補完業務１８業者、物販・飲食業務１０３業者、
加工・サービス業務２０業者

【所 感】



豊洲市場は、見学に訪れる人で溢れ、特に外国人も多く観光名所となっていた。千客万来施設事業や屋上緑地広場など、にぎわい創出の効果も大きいと感じた。

「閉鎖型施設」の特徴を活かし、商品特性にあったエリアごとの適温管理が可能となるほか、外気や虫、ほこりの流入も抑制することが出来るようになり、３～５日鮮度が保てることに感心。温度管理ができたことで、働く人々の身体が楽になったことは重要な視点である。

鮮度管理された清潔な空間で、消費者の意識が高まっている食の安全・安心の確保、効率的な物流の実現など、産地や顧客・消費者の様々なニーズにも対応していることが分かった。さらに、環境に配慮した先進的な市場としてさらに魅力を高めることを目指していることから一生期待が高まる。

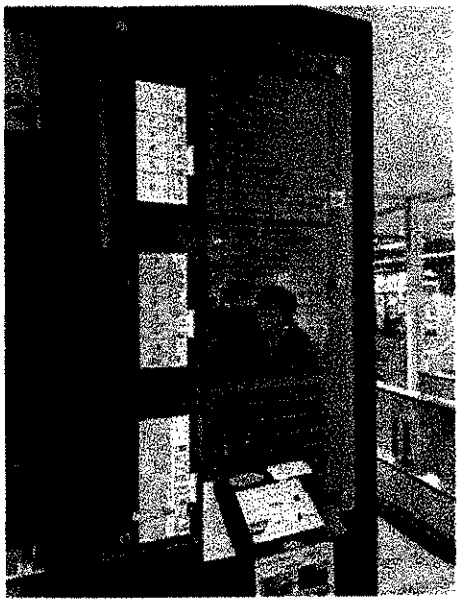
本市の中央卸売市場再整備においても、食品流通の中で卸売市場が果たしてきた集荷・分荷・価格形成等の調整機能、農林漁業者の所得向上や消費者ニーズに的確に応えていくために付加価値の向上に努められることを期待する。
一般市民に開かれた施設整備を通し、食に対する関心を高め、安心安全の発信をされることを願う。

④ 3月26日（火）

視 察 先 ： 会津若松市

調査項目 ： 会津若松市スマートシティの取組み

【説 明】



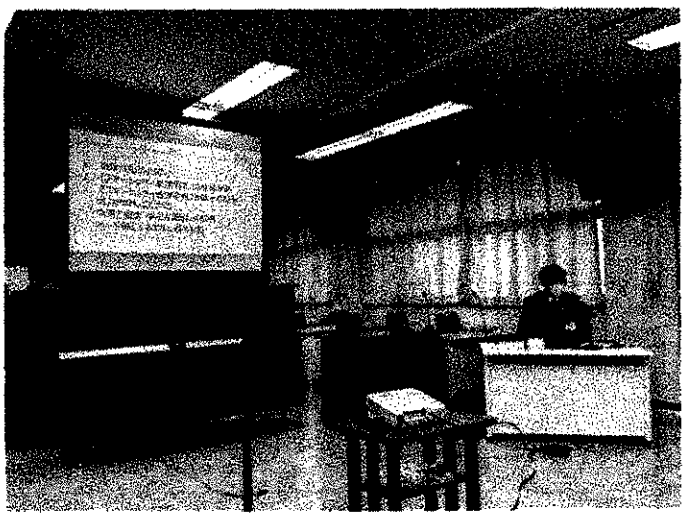
会津若松市は、東日本大震災を契機に、情報通信技術や環境技術などを活用し、持続可能な災害に強い豊かなまちを創る「スマートシティ会津若松※1」を掲げ、安心して快適に生活できるまちづくりに取り組んでいる。

さらに、国の成長戦略に基づく「地域活性化モデルケース」事業の採択を受け、ICTの活用や地域イノベーションの展開による地域産業の成長促進、これに伴う人材育成や実証フィールドの整備など、精力的に活動している。

「AiCT」は、その施策の一環として首都圏などのICT関連企業に働きやすい魅力的なオフィス環境を提供することを目的に整備された施設である。

TISは、「ICT産業の集積地である会津若松市」で、最先端の国家プロジェクトへの参加や、「会津大学」などとの実証実験を通して、新たな価値創造に向けた活動に積極的に取り組んでいる。

※1:「スマートシティ会津若松」とは、ICT（情報通信技術）や環境技術などを、健康や福祉、教育、交通、環境といった私たちの生活を取り巻く様々な分野で活用し、将来に向けて持続力と回復力のある力強い地域社会と、安心して快適に暮らすことのできるまちづくりを進めていくものであり、これらの多様な取組の総称を指す。



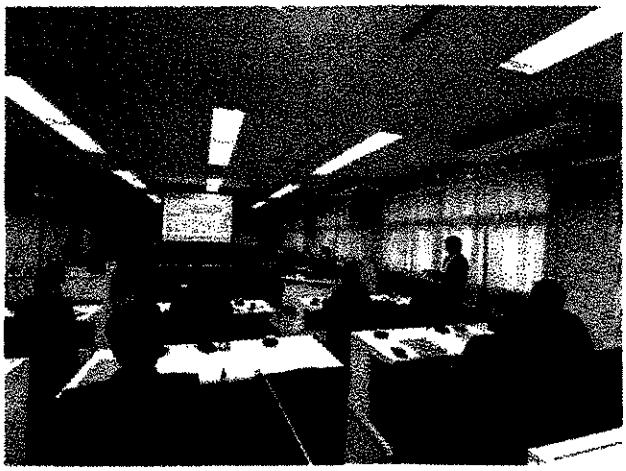
「スマートシティ AiCT（アイクト）」の「A」には AIZU、AI、Advance（前進）の意味合いが込められており、入居企業と会津大学、地元企業との産学官連携の推進により、新たな価値の創造に努め、未来に向け、市を前進させてる取組みだ。地方モデルの実証、実装事業をはじめ、産学官や地域企業との連携による新ビジネスの展開、人的交流が盛んになることが期待される。

ICT オフィス環境整備事業は、地方創生を目的として策定した「会津若松市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けた事業であり、ICT 専門大学である「公立会津大学」の立地を活かし、首都圏などから ICT 関連企業の集積を促進することにより、新たな人の流れと雇用の場の創出、若年層の地元定着による地域活力の維持発展を目指すものである。

１９９３年創立の会津大学は、日本初のコンピュータ専門大学として開設。教員は全世界を対象とし、開学当時から教員８２人のうち４８人が外国人教員で国際性が高い。

人口１１万４千人、世帯数４万９千世帯のコンパクトな街に、先見の目で創設した大学が現在のデジタル対応するまちづくりに拍車をかけているようだ。

【所 感】



会津若松市が抱えている人口減少や少子高齢化などの課題は、全国の自治体が抱えている共通課題である。平成 27 年を人口ピークに、年 1,000 人以上のペースで人口減少し、特に若年層の人口減少率が大きい状況は浜松市も同じである。高校卒業後は 8 割が地域外へ出て行ってしまう中、その対策として平成 25 年から「スマートシティ会津若松」に取りくんでいる。

その内容は、魅力的なしごとづくりであり、快適で安全・安心な暮らしの実現、データを利用したまちの見える化である。この実現のために、市と AiCT（アイクト）コンソーシアム・会津大学の３者が相互に連携して基本協定が締結されたことは、大きな推進力であり、大学との連携は羨ましい環境であると感じた。

さらに、「三方良し」の地域社会の実現を目指し、市民、地域（AiCT コンソーシアム・地域企業）、企業（みずほ銀行・TIS）がそれぞれにメリットを感じながら地域活性化のために「会津コイン」を積極的に利用・運営しているしくみに感心した。

さらに、個人情報の取扱いについては、事前に本人の同意を得る「オプトイン型」としており、市民の疑問や不安に配慮していることは重要は視点である。

魅力的なまちづくりは若者の定住や移住を意識づけることができるであろう。「未来のまちづくり」にスマートシティとしての取組みを積極的に推進していることで、持続可能な社会に繋がることは間違いないと感じることが出来た。

本市にも言える事であるが、さまざまなところにデジタルサービスが増えているが、市民にとっての利便性と周知が充分なのか、検証は絶えず必要であると感じる。議員としても、市民と行政の間に入って進めていくことが必須であることを再認識した視察であった。

以上

会派A班視察報告書

報告者　神間郁子

■視察日程　２０２４年3月２５日～２６日

■視 察 先　東京都中央卸売市場豊洲市場・会津若松市

■視 察 者　高林　修　須藤京子　平野岳子　井田博康　久米丈二

露木里江子　小野田康弘　神間郁子　辻村公子

■視察概要

東京都中央卸売市場　豊洲市場：中央卸売市場豊洲市場の役割・観光市場としての内容

２０１８年１０月１１日開場した豊洲市場は、首都圏の基幹市場として、それまで築地市場が果たしてきた豊富で新鮮な生鮮食料品流通の円滑化と価格の安定という機能に加え、消費者の意識が高まっている食の安全・安心の確保、効率的な物流の実現など、産地や顧客・消費者の様々なニーズにも対応し、さらに、環境に配慮した先進的な市場とするとともに、築地市場の築いてきた歴史と伝統を継承・発展させていくことで、豊洲市場の魅力＝ブランド力を高めていくことを目指す。

○食の安全・安心の確保

閉鎖型施設としたことで、エリアごとの温度管理が可能となった。外気・虫ほこりの流入を防ぐとともに、働く人にとっても環境が改善された。魚の鮮度的に持ちがよくなったとの声あり。

○省エネに取り組み環境に配慮

都内最大級の太陽光発電設置（総電力の２％に充当されている）LED照明など省エネ機器の導入や屋根部分の緑化。

○効率的な物流の実現と新たなニーズへの対応

駐車スペースや荷捌きスペースの配置の工夫により、円滑な物流を実現した。専門小売店・食品スーパーから求められる、加工・小分け・包装等の加工パッセージ施設の整備。

○地域と連携し活気と賑わいの創出

隣接施設「千客万来」は2024年2月にオープン。50年の定期借地により民間企業である、万葉倶楽部による運営。都としては運営には関与していない。市場の見学コースにはQRコードによってせりの動画を見られるようにしたり、見学デッキは月に100人以上の申し込みがありにぎわっている。

＜所　感＞

当初、移転するか、再整備するかでいったんは再整備方針で進み、仮設施設をつくったが、入居に難色を示したことから、移転へ舵を切った。使用料については、新設豊洲になっても、使用料は変わらないとのこと。これは移転により土地の売却益が出たことにより、これから40年～50年は据え置きで行ける計算とのこと。東京ならでは、である。本市においては、こういった収入はないことから、新施設になることによる使用料の値上げについては、場内店との十分な協議が必要となる。配置の工夫により、家賃に直結する、省スペース化、コンパクト化をはかり品物の動線にも十分配慮された利用しやすい施設となっている。インバウドが復活し、外国人観光客が多く、また春休みの家族連れでにぎわっていた。「千客万来」を含め、観光客を呼び込むために、新交通ゆりかもめが直結している点が大きい。本市の中央卸売市場を再整備においても、市民や観光客を呼び込む交通手段や、賑わいの創出に向けた余剰地の活用について十分な検討が必要となる。使うものにとっても効率的で、使いやすい市場となり、賑わいが創出できる再整備について、しっかり今後を見ていきたい。

<u>会津若松市役所：スマートシティの取り組みについて</u>

東日本大震災からの復興を考える中で、会津大学という強みを生かすという思いからスタートした、スマートシティ会津若松。人口減少・若者流出課題に対して、デジタル技術の活用による取り組みを推進してきた。目指すこれからのカタチとは、「三方よし」。売り手と買い手の満足はもちろん、地域社会に貢献してこそ良い商売である、という考え方で、単にデジタル化ではなく、地域にデータもお金も残す新しい仕組み、つまり、
市民にとって・・・デジタルの力で安心快適な便利な生活
地域にとって・・・地域のデータを活用した新しい仕事・魅力的なまちづくり

企業にとって・・・新たなデジタルサービスの提供
産官学連携によるスマートシティの推進では、公立大学法人会津大学、と（一社）AiCT（アイクト）が連携している。会津大学は、平成5年に開学したICT専門大学。パソコンやスマートフォンンだけでなく医療・AI、宇宙まで研究対象は幅広く、国内外の評価が高く、優秀な人材を輩出している。一学年240名で6割は県外からの学生だが、就職時には8割は県外へ出て行ってしまう。働く場所の提供が課題となっている。AiCTコンソーシアムは、AiCTの入居企業や市内地元企業、団体などの約90社の会員企業や団体により令和3年に設立し、組織の枠を超えた協業を実践している。会津地域でのデジタル変革とスマートシティの取り組みモデルを目指す。

令和4年の取り組みは、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用して、ヘルスケア（オンライン診療）・防災（デジタル防災）・行政（手続きナビサービス）・決済（会津コイン）・観光（観光支援サービス）・食と農（需給マッチングアプリ）6分野にて取り組みを推進してきた。

＜所感＞
人口11万人の会津若松市だが、デジタル推進が進んでいる印象であった。しかし、議会からも指摘があったように、市民がそれをどのくらい享受できているかについては、まだまだ課題があるように見えた。アプリなどの登録者数はそれほどの伸びはない。市民への周知や理解のために、いかに市民へのコミュニケーションをとっていくかはこれからの課題となっている、とのこと。また実際に人口減少や若者の流出に歯止めを、の点では、まだ結果は出てきていない。大学があっても、人材が流出していまうことを考えると、浜松市においてはやはり、R6年度事業、働く場の提供である、ICT企業誘致施策に期待するところが大きい。

提供された資料、「あいづわかまつ市政だより別冊」がスマートシティを市民向けに紹介した資料として、とても分かりやすいものとなっている。本市も参考にするように提案したい。また担当者の熱のこもった説明を聞いたが、やはり要となるのは、分野に長けた職員である。本市のデジタル人材の配置についても見直していく必要がある。

自由民主党浜松A班視察報告書

令和6年3月28日
自由民主党浜松
小野田　康弘

◆視察日程　令和6年3月25日（月）　～　令和6年3月26日（火）

◆視 察 先　3/25　東京都江東区　東京都中央卸売市場豊洲市場
3/26　福島県会津若松市　会津若松市役所

◆視察議員　髙林 修　須藤 京子　平野 岳子　井田 博康　久米 丈二　小野田 康弘
神間 郁子　辻村 公子

◆視察報告

①令和6年3月25日（月）東京都江東区　東京都中央卸売市場豊洲市場

◎視察目的

- 「中央卸売市場豊洲市場の役割について」
- 「観光市場としての内容について」

◎豊洲市場の概要

豊洲市場は、東京都江東区に築地市場からの移転後、50年先まで見据えた首都圏の基幹市場として平成30年に開場しました。この市場は、魚介類や新鮮な食材を卸売りする拠点として知られています。豊洲市場は、その先進的な設備や施設、そして厳格な衛生管理で知られています。また、一般の人々も市場内の一部エリアで飲食を楽しむことができ、観光客にも人気がありま



1

す。年間を通じて多くの食材が取引されており、その規模は非常に大きなものです。特に、魚介類の取引量は膨大で、日本国内だけでなく世界各国からも取引が行われています。市場内では、競りやオークションなどの取引方法が用いられ、時には高額な値がつくこともあります。

◎視察内容

東京都には、11の中央卸売市場があり、基幹市場として豊洲市場と太田市場があります。豊洲市場の移転の理由として、築地市場が鉄道輸送を前提に設計されており、現代のトラック輸送には十分に対応できず建て替えが必要と言われていました。東京都は、銀座などに近いという立地の良さと土地の広さなどを鑑み、平成26年を目処に江東区豊洲への移転を検討していましたが、土壌汚染などの課題があり開場が遅れてしまいました。そうした中で、50年先を見据えた基幹市場となるため、様々な特徴を持つ市場となっています。

豊洲市場の特徴としては、他市場への転配送施設を設置するなど、首都圏のハブ機能を確立し搬入から搬出までの一貫した物流システムを確立するなど、取引・物流両面の効率化を図っています。また、閉鎖型施設の特徴を活かして、高度な衛生管理、よりよい品質管理が可能となる施設整備や体制作りを行うなど、安全・安心の市場作りを行っています。衛生・温度管理がしやすい屋内で荷物を積み下ろす閉鎖型施設にしたことで果実など青果物に関してはクレームが減り、駐車場や荷捌き場を拡張したことでトラック滞留時間が短縮できたと事業者から評価されています。

また、環境に配慮した取り組みとして、都内最大級の太陽光発電などの自然エネルギーを活用するとともに、外気冷房システムやＬＥＤ照明などの省エネ機器の導入や屋上緑化など、環境負荷の低減、省エネ・省資源に取り組んでいます。

さらに、市場内には見学コースが設定され、セリの見学、見学ギャラリーや物販店舗、市場関係者や一般の来訪客も利用できる飲食店舗も常設し、年間来訪者が260万人を見込んでおり、賑わいゾーンの設置や魅力ある都市景観に配慮するなど、街作りに貢献する市場となっています。



2

◎所　感

本市では、浜松中央卸売市場の老朽化により浜松市中央卸売市場再整備基本計画が策定されましたが、将来に向けての市場規模と機能、役割など様々な課題が山積しています。豊洲市場は、築地市場の老朽化と鉄道輸送を前提と設計されていたことにより、取扱量の増加による輸送効率低下と場内作業場が手狭となり、豊洲へ移転となりました。東京都の市場担当者から、移転の経緯や市場の役割また特徴などの説明があり、のちに市場内の水産棟を見学させていただきました。豊洲市場では、首都圏の生鮮食品の台所として水産物の取扱量が青果物より多く卸売業者7社（せり人数530人）、仲卸業者468業者、売買参加者292業者と多くの関係者から運営されています。水産棟の見学では、この市場の特徴である閉鎖型施設により、室内温度の定温化された市場内は、鮮度や品質管理など食の安全・安心に寄与していると感じました。また、トラック輸送を前提と考えられた搬入・搬出の導線も効率的で搬出作業の時間短縮にも繋がっています。

豊洲市場は、日本最大級の卸売市場であるため、本市の中央卸売市場とは比べることはできませんが、再整備の中で新鮮な生鮮食料品流通の円滑化と食の安全・安心の確保、効率的な物流の実現などは参考になるものが多く感じ取れました。また、競りの見学や市場内の見学コースの設定など一般のお客様に市場を身近に感じる工夫も参考になりました。令和6年2月には、隣接地に豊洲場外江戸前市場として民間が運営する「千客万来」がオープンし、多くの観光客が来訪しており豊洲市場を中心に地域の賑わいの創出に貢献していると感じました。浜松市中央卸売市場についても、市場を中心とした賑わいの創出ができれば地域の活性化に貢献できるのではないかと思いました。

②令和6年3月26日（火）福島県会津若松市　会津若松市役所
スマートシティＡｉＣＴ

◎視察目的

・「スマートシティ会津若松の取組みについて」

◎スマートシティ会津若松の概要

スマートシティ会津若松は、福島県会津若松市が実施している都市開発プロジェクトです。このプロジェクトは、先進技術を活用して、地域の持続可能な発展や住民の生活の質を向上させることを目指しています。

主な特徴や取り組みとしては、エネルギー効率の向上として再生可能エネルギーの活用や省エネルギー技術の導入により、市のエネルギー効率を高め、地域の環境負荷を低減します。また ICT の活用として、情報通信技術（ICT）を利用したスマートなインフラの整備や、データ分析による効率的な行政サービスの提供などが行われています。

交通・移動の改善として、公共交通機関の充実や交通インフラの改善、そして ITS（Intelligent Transportation Systems）の導入により、交通渋滞や駐車問題の緩和を図っています。

防災・安全対策として、地震や洪水などの災害に備えたシステムの構築や、防災情報のリアルタイムな提供などが行われます。

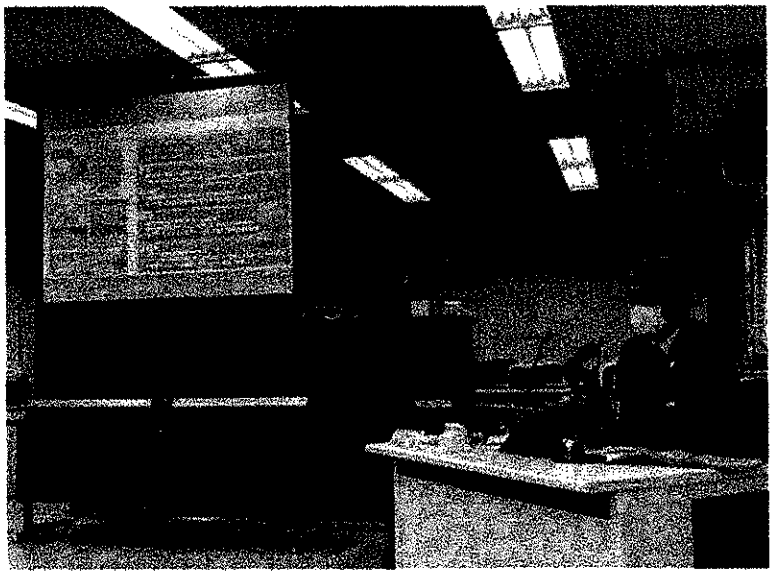
地域活性化として、地域産業の振興や観光資源の活用、文化・教育施設の整備など、地域経済の活性化を図る取り組みも含まれます。

これらの取り組みを通じて、会津若松市はより持続可能で魅力的な都市を目指しています。

◎視察内容

スマートシティ会津若松は、平成 25 年より、将来に向けて持続力と回復力のある力強い地域社会と、安心して快適に暮らすことができるまちづくりを進めるため、健康や福祉、防災、地域経済、エネルギーなど、生活に関わるあらゆる分野で、ICT や環境技術などを活用した取り組みを推進しています。年 1,000 人以上のペースで人口が減少し特に若者の流出という課題に対し、地方であっても都市部と変わらない利便性と快適性を目指しつつ、新しい仕事や雇用を生み出し、魅力的なまちにしていく、これを実現するために、「市内に魅力的なしごとづくり」、「快適で安全・安心な暮らしの実現」、「データ等によるまちの見える化」などのテーマを掲げ、手段としてデジタル技術を活用した取組みを進めています。

取組みを一緒に推進するパートナーとして、日本初のコンピューター理工学の専門大学として会津大学が平成5年に開学し、パソコンやスマートフォンだけでなく、医療やAI、宇宙までと研究対象は幅広く、国内外での高い大学があり地域内外で優秀な人材を多数輩出しています。また、一般社団法人スーパーシティAiCTコンソーシアムは、AiCT入居企業や市内地元企業、団体など約90社の会員企業や団体により令和3年に設立し、組織の枠を超えた協業を実践しています。



◎所感

「スマートシティ会津若松の取組み」について、会津若松市スマートシティ推進室より取組みの経緯やこれまでの変遷や具体的な取組みなどの説明を頂きました。本市においてもデジタルファースト宣言を行い、AI・ICT等の先端技術やデータを活用などデジタルの力を最大限に活用し、持続可能な都市づくりを推進していますが、会津若松の取組みと比べどのような違いがあるのか非常に興味がありました。

会津若松市の魅力的なところは、「産・学・官」の連携によるスマートシティの推進が強力であることが挙げられます。学では、地元の会津大学は、コンピュータ理工学の専門大学という強みがあり、産では、行政主導の協議会から民間主導のコンソーシアムを令和3年に設立し、民間主導の地域マネジメント法人「一般社団法人AiCTコンソーシアム」がスマートシティの中核を担い、強力な基本協定を締結しています。また、ICTオフィス「スマートシティAiCT」を官民共同出資にて建設し、首都圏等のICT関連企業の機能移転に加え、地域のICT関連企業も入居しておりAiCTの入居企業間でのイノベーションが生み出されています。さらに、市民から「スマートシティサポーター」を登録してもらい、デジタルサービスの体験会や意見交換会などの情報を積極的に配信したりし、市民への情報提供を行うことでスマートシティ会津若松の取組みを広げています。このように地域での推進体制が非常に整っていると感じました。

実現を目指す取組みとして、AI 活用やデータ分析による医療サービスのヘルスケアウをはじめ、モビリティ、食・農業、手数料ゼロのデジタル地域通貨の決済、エネルギー、観光、ものづくりなど、行政サービス、廃棄物、地域活性化、防災教育など 12 の分野で取り組んでいます。現状では、まだまだの分野もあるとのことですが、本市も見習いたいことが多くあると感じました。今回の視察では、スマートシティ会津若松の取組みが先進的なものであると感じました。

豊洲市場視察報告書

令和６年３月25日

自由民主党浜松　辻村　公子[redacted]

所　　感

浜松市においても中央卸市場の老朽化に伴い、再整備基本計画が掲げられている。豊洲市場は観光名所としても知られ、雨が降る中も多くの観光客でにぎわい、その中には外国人観光客の姿も多数みられた。

ゆりかもめの市場前駅から市場までの動線として高架型の歩道が設置されているが、全てに屋根がかかり、集客率アップにもつながると感じた。

豊洲市場は日本発の全館閉鎖型の施設であるが、閉鎖型にすることにより、鮮度が保たれるのはもちろんのこと、働く人が働きやすくなったというところは大きいのではないだろうか。食の安全・安心の確保、効率的な物流は、全国全ての市場にも求められることでもあり、最先端の豊洲市場の参考となるべきところを、浜松の市場にも取り込んでもらいたい。働く人の環境づくりを始め、多くの市民や観光客も立ち寄れる集客力のある観光名所、さらには小中高学校の社会見学ができるような施設なると、市場に対して関心度も高まるのではないかと感じた。

『スマートシティ会津若松の取組とビジョン』視察報告書

令和6年3月26日(火)

自由民主党浜松　辻村　公子[redacted]

所　感

会津若松市は人口112千人と、本市と同じく人口減少問題が課題となっている。平成25年から会津若松市は『スマートシティ会津若松』の推進体制を作り、将来にわたって持続力と回復力のある力強いまちづくりの取り組みについては、浜松市においても『デジタルスマートシティー』によるまちづくりの推進と同じ方向性だと感じた。まちづくりに必要なもの、それは官民が一体となって取組むことが、まちの発展や活性化につながると思う。

会津若松市ではスマートシティ AiCT が２０１９年に開所され、市の土地に民間が建設、経営をしている。市外からの機能移転事業者は、主に首都圏の大企業と、地元の事業者が利用しているというのはとても魅力的である。地元のベンチャー企業では地元の学生の就職受け入れ先としても力を入れており、素敵なオフィスで地元の若者が働ける環境づくりはとても重要である。浜松も若者の働きたい企業がもっと増えれば少子化減少も緩やかになるのではないだろうか。

また、一人一人が見えるデータ化されていることで、アプリを使った避難訓練をされていることは災害時には有効でかつ迅速な取り組みが活かされると思われる。浜松市も各自治体の避難訓練では安否確認を行っている地域もあるようだが、第一避難場所で個人のデータが災害対策本部に届くとスムーズな救助活動により、多くの命を助けることができると感じた。

（様式６）　　A 0302

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和 ６ 年　３　月 ２７ 日 (水) ～　３　月 ２８ 日(木)　２日間
出張先（目的）	Ｂ班　行政視察 藤沢市【(株) FujisawaSST SQUARE】 宇都宮市【宇都宮ライトレール株式会社】

出張者氏名	柳川樹一郎	花井　和夫	鳥井　徳孝	
	中野　和幸	藤田　典良	鈴木　裕之	(以上 ６名)

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	１６７，１００ 円	新幹線チケット代・手配手数料　６名分 (JR チケット代 @26,750 円 ＋ 手数料 @1,100 円) ×６名分
〃	７，３００ 円	タクシー代 実費　① 藤沢駅 ～ FujisawaSST　２台分　2,900 円 (3/27 ４台分)　② FujisawaSST ～ 藤沢駅　２台分　4,400 円
視察費	５５，５５０ 円	③ 3/27 Fujisawa SST 見学ツアー 55,000 円 ＋ 振込手数料 550 円
〃	２，４００ 円	④ 3/28 宇都宮ライトレール宇都宮駅―平石駅　往復乗車 @400 円×６名
宿泊費	８８，８００ 円	@１４，８００円 × １泊 × ６名分
日　当	１８，０００ 円	@１，５００円 × ２日 × ６名分
合　計	３３９，１５０ 円	

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
		¥	3	3	9	1	5	0

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和 ６ 年　４　月　１　日

代 表 者　会 長　鳥井 徳孝 [redacted]

〈詳細〉

・新幹線切符代　・手配手数料　１件　【3/25 支払　遠州鉄道(株)】
・視察費　２件　【3/27 FujisawaSST マネジメント(株)／ 3/28 宇宇野宮ライトレール(株)】
・現地利用タクシー代　４件　実費　領収書添付

B No. 616835

領　収　証

2024年 3月 5日

浜松市議会 自由民主党 浜松 様

金額	百万	十	千	百	十	円
			1	6	7	1	0	0

但し 3/27～28 交通費、手配手数料として

上記の金額正に領収致しました。

現金 / 振込 / カード / 相殺 / その他

200円

内訳

	税込金額	消費税額
10%	167,100 円	(15,191 円)
8%	円	(円)
非課税	円	
不課税		

遠州鉄道株式会社

〒430-8655 浜松市中区[redacted]

登録番号 T5080401000702

扱者印

※社印、扱者印のないものまたは金額を訂正したものは無効です。

研修費用見積書 （手配旅行用）

発行日　令和6年3月22日

浜松市議会 自由民主党 浜松　様

旅行日	2024年3月27日(水)～3月28日(木)
行　先	藤沢・宇都宮視察
参加人員	6　名（大人　6　名・　子供　名）

※当書面は企画書面に明示した受注型企画旅行契約に基づく旅行代金を構成するそれぞれの項目についての販売価格の目安です。

当該内訳書は左記人数を基準にした場合の旅行代金の内訳です

単位(円)

交通費（指定席）

項　目	区間／条件等	販売単価	数量	金　額	適用
JR代金		26,750	6	160,500	
（小計①／　6　名）お一人様　26,750 円		小計①		160,500	

交通費（変更費）

項　目	区間／条件等	単　価	数量	金　額	

宿泊代

地　名	条　件	単　価	数量	金　額	

食事代

地　名	食事内容	単　価	数量	金　額	

入場料／その他

項　目	摘　要	単　価	数量	金　額	
手配手数料		1,100	6	6,600	
小計②		小計②		6,600	
旅行代金総額 A		27,850	6	167,100	
お一人様旅行代金（A／ご参加人数）	6　名様ご参加の場合	27,850	※左記金額には任意の旅行保険代は含まれておりません		

国内旅行傷害保険（任意）	お勧め保険プラン	単価	人数	金額	※保険代金を(A)の旅行代金総額に加算願います。
	団体ノーマル　（補償内容はパンフレットを参照）				

備考

新幹線特急券

浜　松 → 小田原　C01

3月27日（7:30発）（8:51着）
こだま 700号　12号車 6番C席
¥3,260

67611-064

2024.-3.19 ㊐浜松本社MR1(3-) 60006-06

乗車券 (幹)

浜　松 → 藤　沢

経由:浜松・新幹線・小田原・東海道
3月27日から 3月29日まで有効　¥3,740

67611-070

2024.-3.19 ㊐浜松本社MR1発行
60006-12 (3-タ) C14

乗車券

藤　沢 → 上　野

経由:東海道・東北
3月27日当日限り有効
下車前途無効　¥990

67610-855

2024.-3.12 ㊐浜松本社MR1発行
60111-01 (3-タ) C23

乗車券・新幹線特急券 ＊＊＊＊＊＊＊
乗車券 3月28日まで有効

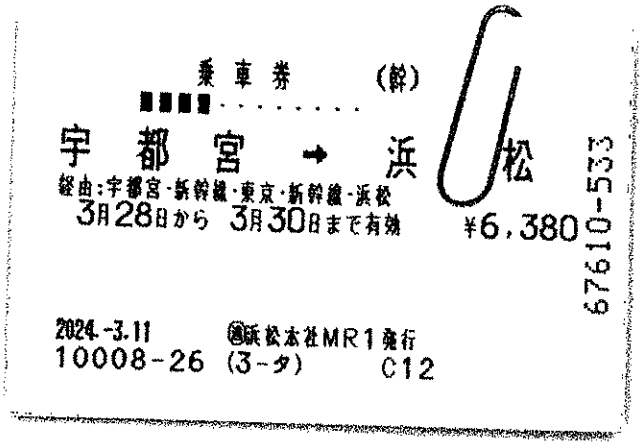
上　野(山手線内) → 宇都宮　C06

3月27日（16:18発）（17:04着）
やまびこ 213号　6号車 4番D席
¥5,010 内訳：乗1,980・特3,030

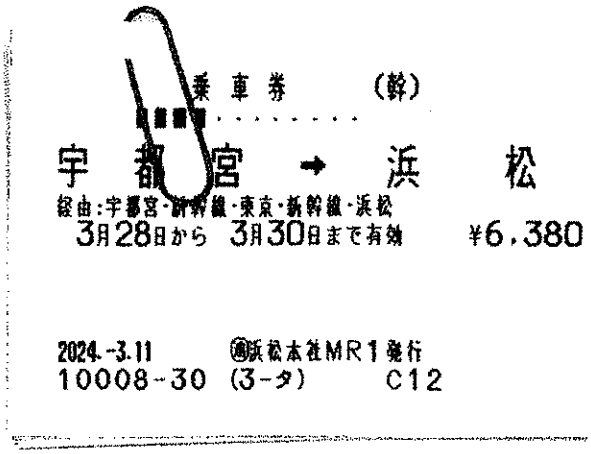
山手線内各駅下車前途無効

67610-861

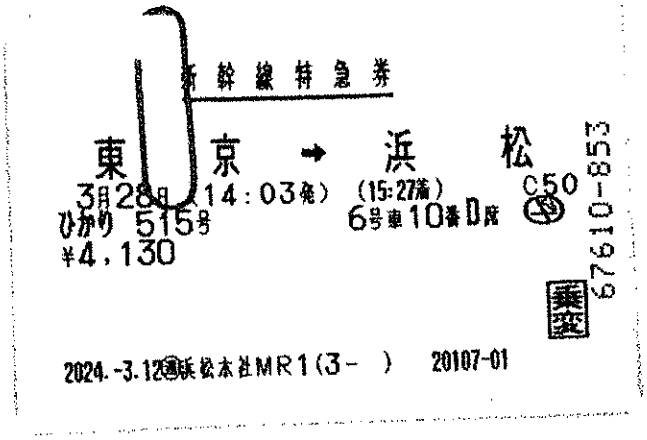
2024.-3.12 ㊐浜松本社MR1(3-タ) 60111-07



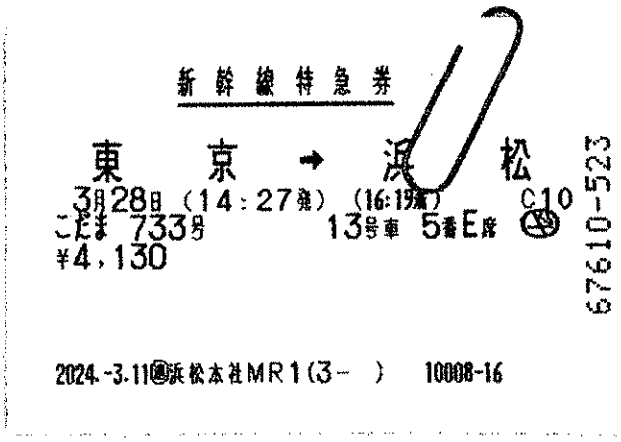
乗車券 (幹)
■■■■・・・・・・・・
宇都宮 → 浜松
経由:宇都宮・新幹線・東京・新幹線・浜松
3月28日から 3月30日まで有効 ¥6,380
67610-533
2024.-3.11 ㊞浜松本社MR1発行
10008-26 (3-タ) C12



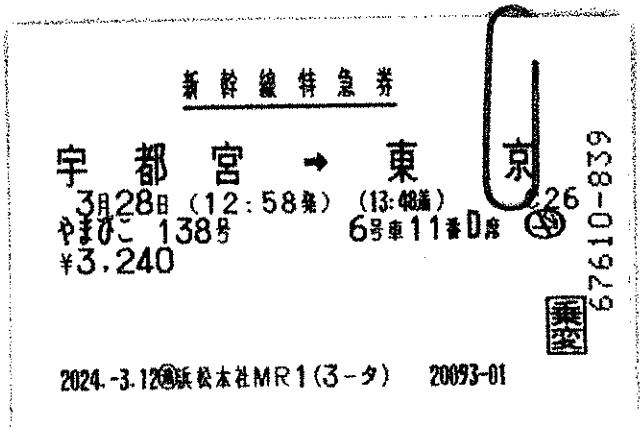
乗車券 (幹)
■■■■・・・・・・・・
宇都宮 → 浜松
経由:宇都宮・新幹線・東京・新幹線・浜松
3月28日から 3月30日まで有効 ¥6,380
2024.-3.11 ㊞浜松本社MR1発行
10008-30 (3-タ) C12



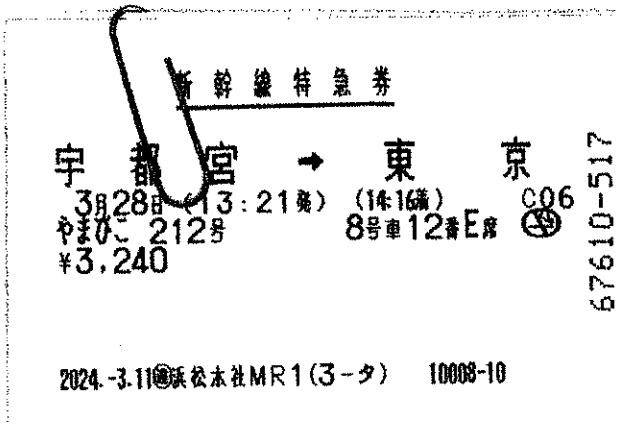
新幹線特急券
東京 → 浜松
3月28日 (14:03発) (15:27着) C50
ひかり 515号 6号車 10番D席 禁
¥4,130
67610-853
乗変
2024.-3.12㊞浜松本社MR1(3-) 20107-01



新幹線特急券
東京 → 浜松
3月28日 (14:27発) (16:19着) C10
こだま 733号 13号車 5番E席 禁
¥4,130
67610-523
2024.-3.11㊞浜松本社MR1(3-) 10008-16



新幹線特急券
宇都宮 → 東京
3月28日 (12:58発) (13:40着) C26
やまびこ 138号 6号車 11番D席 禁
¥3,240
67610-839
乗変
2024.-3.12㊞浜松本社MR1(3-タ) 20093-01



新幹線特急券
宇都宮 → 東京
3月28日 (13:21発) (14:16着) C06
やまびこ 212号 8号車 12番E席 禁
¥3,240
67610-517
2024.-3.11㊞浜松本社MR1(3-タ) 10008-10

[2] [@13,750 × 4名分 = 55,000円 + @13,750 × 2名分 = 27,500]

[3] 手配手数料 @1,100 × 6名分 = 6,600円

3/27 藤沢タクシー代

①-1

領収書
現・チ・ク・割引 No.1740
日付 '24年03月27日
車番 64027 000
メータ運賃 ¥1,500-
合計 ¥1,500-
上記の通り領収致しました

消費税率 10%
登録番号：T1021001024472
毎度ご乗車有難うございます
KanachuTAXI
神奈中タクシー株式会社
藤沢第一営業所
お申の御用命は☎0570-077-030
お忘れ物、ご要望は☎0466 87 3262
ご意見、ご要望は
神奈川県タクシー協会 相模支部
☎ 046 227 0080

①-2

領収書
現・チ・ク・割引 No.0012
日付 '24年03月27日
車番 4001 000
メータ運賃 ¥1400円
合計 ¥1400円
上記の通り領収致しました
消費税率 10%
毎度ご乗車ありがとうございます
(株)湘和タクシーFIT
登録番号：
T6021001004610
藤沢市柄沢469-6
0466-26-6657
ご意見・ご要望は
神奈川タクシー協会 相模支部
046-227-0080

(Fujisawa S)
藤沢駅 ～ 視察先
2台

②-2

領収書
No.5797
日付 2024年03月27日 12:45
車番 004010 800
メータ運賃 ¥1,700
迎車料金 ¥500-
運賃料金計 ¥2,200
合計 ¥2,200-
内消費税等 ¥200
消費税率 10%
上記の通り領収致しました
登録番号：1402100100597 3
KK無線タクシー
小和田交通(株)
☎0467-51-1119
お忘れ物・ご要望は上記または下記へ

②-1

領収書
No.5850
日付 2024年03月27日 12:56
車番 004010 800
メータ運賃 ¥1,700
迎車料金 ¥500-
運賃料金計 ¥2,200
合計 ¥2,200-
内消費税等 ¥200
消費税率 10%
上記の通り領収致しました
登録番号：1402100100597 3
KK無線タクシー
小和田交通(株)
☎0467-51-1119
お忘れ物・ご要望は上記または下記へ

Fujisawa SST ～ 藤沢

ご利用明細　静岡銀行

ご利用ありがとうございます。
内容をご確認いただきお持ち帰りください。

年 月 日	振替先店番・科目・口座番号	
06 03 29		243

銀行番号	店番号	科目	口座番号
0149	[redacted]		

お取扱店	お取引内容	お取引金額
0361	お引出し	¥55,000

お取扱者数												
	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊

	おつり	残高
		＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

キャッシング	手数料	時刻	お取扱いできない場合
	¥550	13:20:56	

お振込先明細・ご案内

ミツイスミトモシンタク
オオサカキンテン
普通 3146152
フジサワ エスエスアイマネジメント
カブシキガイシャ 様
ハママツシキガイシユウミンシコトウハママツ
様 TEL053-457-2495

06.520.38　　(裏面もご覧ください)

領収証　静岡県浜松市議会自由民主党浜松様　No. 10148

金額											
				¥	1	2	0	0	—		

内訳	
現金	
小切手	／
手形	／
消費税額等(10%)	
消費税額等(%)	

但　大人6名×200 車車運賃代として

2024年 3月 28日　上記正に領収いたしました

宇都宮ライトレール株式会社
〒321-0903
栃木県宇都宮市下平出町3110番地
[redacted]
登録番号 T1060001027696

収入印紙

GR095223

領収証　静岡県浜松市議会自由民主党浜松様　No. 20375

金額											
				¥	1	2	0	0			

内訳	
現金	
小切手	／
手形	／
消費税額等(10%)	
消費税額等(%)	

但　大人6名×200 平石～宇都宮駅東口

R6年 3月 28日　上記正に領収いたしました

宇都宮ライトレール株式会社
〒321-0903
栃木県宇都宮市下平出町3110番地
[redacted]
登録番号 T1060001027696

収入印紙

GR095223

4308652
静岡県浜松市中央区元城町103－2浜松市役所

浜松市議会 自由民主党浜松
自由民主党浜松
鈴木 裕之　　様

ご請求書

発行日：　2024年3月27日
請求書番号：　T240327-01

〒251-0043
神奈川県藤沢市辻堂元町6丁目21番1号
電話:0466-34-8542 FAX:0466-34-8543
Fujisawa SSTマネジメント株式会社
（登録番号 T6-0210-0105-0258）

浜松市議会 自由民主党浜松　　御中

以下の通りご請求申し上げます。

検印	検印	担当印
[redacted]		[redacted]

ご請求額　¥55,000　（消費税等込）

件名　Fujisawa SST見学ツアー代

No	項目	軽減税率対象	数量	単価	金額
1	2024年3月27日 Fujisawa SST 見学ツアー代		1	40,000	40,000
2	自動配送ロボット オプションツアー		1	10,000	10,000
	以下余白				

COPY

※は軽減税率対象です。

小計	¥50,000
消費税	¥5,000
合計	¥55,000

お振込先：　三井住友信託銀行　大阪本店営業部
(普通)3146152
受取人：　Fujisawa SSTマネジメント株式会社
フジサワエスエスティマネジメント(カ

10%対象	¥50,000	消費税	¥5,000
軽減8%対象	¥0	消費税	¥0

振込期限：　2024年4月30日

●お手数ですが、お振込の際、振込名義の後に弊社からの請求書番号（本紙右上に記載）をご記入ください。

※恐れ入りますが、振込手数料は貴社ご負担にてお願い申し上げます。
※この用紙は偽造防止処理を施しております。本用紙で作成された請求書は正式書類であることを証し、請求印につきましては省略させていただきます。

自由民主党浜松Ｂ班視察日程表

視察日程　令和６年３月２７日（水）～２８日（木）
視 察 先　藤沢サステナブルスマートタウン・宇都宮 LRT
視 察 者　柳川樹一郎　花井和夫　鳥井徳孝　中野和幸　藤田典良　鈴木裕之

合計６人

3月27日（水）	【７：２０ 浜松駅新幹線改札前 集合】 （こだま７００・指） 浜松駅７：３０＝＝＝８：５１小田原駅 （東海道本線） 小田原駅９：００＝＝＝９：４０藤沢駅 （タクシー） 藤沢駅９：４５＝＝＝９：５５湘南 T-SITE3 号館「FujisawaSST SQUARE」 ＜藤沢 SST 視察＞１０：００～１２：００ **調査項目** ・藤沢サステナブルスマートタウンのタウンマネジメント、防災、カーボンニュートラル、ウェルネス等の街づくりの実情について （タクシー） 「FujisawaSST SQUARE」１２：００＝＝＝藤沢駅１２：１５ （上野東京ライン・東海道線直通） 藤沢駅１２：２１＝＝＝１３：１３上野駅 （昼食→１５：０５新幹線改札前集合） （やまびこ２１３・指）　（徒歩１分） 上野駅１６：１８＝＝＝１７：０４宇都宮駅-- ホテルへ （宿泊）ホテルサンルート宇都宮 （栃木県宇都宮市駅前通り１－５－２　TEL　028-621-3355）	【藤沢市】 人口　443,748 人 面積　69,57 ㎢ Fujisawa SST マネジメント株式会社 〈会場〉湘南 T-SITE３号館 FujisawaSST SQUARE プレゼンテーションルーム 神奈川県藤沢市辻堂元町 6－21 ℡　0466-34-8542 〈昼食〉上野駅近辺 〈夕食〉１８：１５～ パリトン 栃木県宇都宮市宮町 2-22 TEL　028-666-7366
3月28日（木）	【１０：００ ホテルロビー集合】 （徒歩１分） ホテル１０：０５＝＝＝１０：０６トナリエ宇都宮３階 ＜宇都宮市 LRT 視察＞１０：１５～１２：１５ **調査項目** ・LRT を導入するに至った背景や路線ルートなどの検討手法 ・運行を開始し、実際の市民の反応や運行の課題 ・交通政策における今後の展望など （徒歩５分） トナリエ宇都宮１２：２０＝＝＝宇都宮駅１２：２５ （昼食 → １３：１５新幹線改札前集合） 【※帰路①：４名　柳川、花井、藤田、鈴木】 （やまびこ２１２・指） 宇都宮駅１３：２１＝＝＝１４：１６東京駅 （こだま７３３・指） 東京駅１４：２７＝＝＝１６：１９浜松駅 【※帰路②：２名　鳥井、中野】 （やまびこ１３８・指） 宇都宮駅１２：５８＝＝＝１３：４８東京駅 （ひかり５１５・指） 東京駅１４：０３＝＝＝１５：２７浜松駅	【宇都宮市】 人口　512,957 人 面積　416,85 ㎢ 宇都宮ライトレール株式会社 〈会場〉トナリエ宇都宮３階 栃木県宇都宮市駅前通り 1-4-6 ℡　028-341-1647 〈昼食〉宇都宮駅周辺

（様式８）

令和６年３月６日

会派名　浜松市議会 自由民主党浜松
代表者　　会 長　鳥井　徳孝　様

会派名　浜松市議会自由民主党浜松
氏　名　視察Ｂ班幹事　鈴木　裕之[redacted]

出　張　届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

１　出張者

柳川樹一郎 議員　　花井　和夫 議員　　鳥井　徳孝 議員
中野　和幸 議員　　藤田　典良 議員　　鈴木　裕之 議員

（計６名）

２　期間及び出張先

令和 ６ 年 ３ 月２７日（水）～ ３ 月２８日（木）　２日間

藤沢市【サステナブルスマートタウン】　・　宇都宮市【LRT】

３　目的

藤 沢 市　：　藤沢サステナブルスマートシティのタウンマネジメント、防災、カーボンニュートラル、ウェルネス等の街づくりの実情について

宇都宮市　：・LRTを導入するに至った背景や路線ルートなどの検討手法について
・運行を開始し、実際の市民の反応や運行の課題について
・交通政策における今後の展望について

視察依頼書送付願

令和 6年3月6日

浜松市議会議長 戸　田　　誠　様

会 派 名　浜松市議会 自由民主[redacted]浜松
代表者氏名　会長　鳥井　徳孝[redacted]

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

（様式11）

A0302

令和 6 年 4 月 1 日提出

（あて先）　会派名　浜松市議会　自由民主党浜松
代表者　会長　鳥井　徳孝　様

報　告　書

出張年月日	令和 6 年 3 月27日（水）～ 3 月28日（木） 2日間
出　張　先	神奈川県 藤沢市 栃木県宇 都宮市
出張の理由	会派行政視察（B班） 【藤 沢 市】藤沢 SST（サスティナブルスマートタウン）について 【宇都宮市】LRT 宇都宮ライトレールについて
出　張　者 氏　名　印	柳川樹一郎[redacted]　花井　和夫[redacted]　鳥井　徳孝[redacted] 中野　和幸[redacted]　藤田　典良[redacted]　鈴木　裕之[redacted] （計 6 名）

（出張の顛末）

別紙　報告書の通り

（備考）

令和5年度　自由民主党浜松会派視察報告書

報告者　　浜松市議会議員
鳥井　徳孝

1・実施日　令和6年3月27日～28日

2・視察先

(1) 藤沢市　藤沢サステナブルスマートタウン
(2) 宇都宮市　宇都宮ライトレール㈱

3・視察項目

(1) 藤沢サステナブルスマートタウンのタウンマネジメント、防災、カーボンニュートラル、ウェルネス等の街づくりの実情について
(2) ・LRT を導入するに至った背景や路線ルートなどの検討手法について
・運行を開始し、市民の反応や運行の課題について
・交通政策における今後の展望について

4・所見

（1）藤沢サステナブルスマートタウンは CO_2 排出量の削減や、住まいと暮らしの脱炭素実現に向けた再生可能エネルギーの導入を促進し、未来のため地球環境に配慮した街づくり住宅づくりに取り組んでいた。このことは地球温暖化対策へのモデル都市にまると思われた。課題としては、一時期に人口増が見受けられるため、今後 10 年 20 年 30 年後を見据えた時、人口減少への対応が必要になると思われた。

（2）本市においても以前から LRT 導入の考えがある中、宇都宮市の LRT に乗車し、本市が LRT 導入するにあたっての是非を確認した。定時走行の利便性や地球温暖化対策に配慮した交通政策の一つと思われた。一方、LRT 運行にあ

たっては片側３車線の道路整備が必要と思われた。また、本市においては昼間の乗降客の確保が難しいとも思われた。そのことから本市においてはモノレールやBRTを交通政策に検討すべきと思われた。

自由民主党浜松Ｂ班視察報告書

中野和[redacted]

視察日程　令和６年３月27日（水）～3月28日（木）

視察先　・藤沢ＳＳＴ

・宇都宮市ＬＲＴ

視察内容　・藤沢サステナブルスマートタウンのタウンマネージメント、防災、カーボンニュートラル、ウエルネス等の街づくりの実情について

・ＬＲＴを導入するに至った背景や路線ルートなどの検討法

・運行を開始し、実際の市民の反応や運行の課題

・交通政策における今後の展望

視察議員　柳川　樹一郎議員　花井　和夫議員　鳥井　徳孝議員

中野　和幸議員　藤田　典良議員　鈴木　裕之議員

視察日　令和６年３月27日（水）

視察地　Ｆｕｊｉｓａｗａ　ＳＳＴ（神奈川県）

調査項目　・藤沢サステナブルスマートタウンのタウンマネージメント、防災、カーボンニュートラル、ウエルネス等の街づくりの実情につ

いて

目的　　松下電機工場跡地に、10年前から先進的な取り組みを進めるパートナー企業と藤沢市の官民一体プロジェクトの都市つくりを学ぶ。

説明　　「Ｆｕｊｉｓａｗａ　ＳＳＴ」が、誇りたいのは、町のスケールではありません。街づくりの発想とプロセスです。最初に、エネルギー、セキュリティ、モビリティ、ウエルネスなどの様々な角度から住人の快適性、地域特性や未来のくらしを考えてスマート・コミュニティライフを提案。次にそれらに最適な家や施設など街全体をスマート空間として設計し、最後に新しい暮らしを支えるスマートインフラを最適構築します。

全体目標として、

環境目標　　CO_2　７０％削減　生活用水30%削減

エネルギー目標　再生可能エネルギー利用率　30%以上

安心・安全目標（ＣＣＰ）　ライフライン確保３日間

を設定。

１００年先も「生きるエネルギー」がうまれる街になるように、住宅、商業施設、健康・福祉・教育施設、公園、街区などを計画

した。

・藤沢の光と風を街まるごと活かす街。

・もしもの時も、希望のあかりを灯す街。

・街のみんなの安心・安全を見えないゲートで守る街。

・車に乗らない人もアクティブになる街。乗る人もエコになる街。

・街にかかわる全ての人が、ふれあいながら健やかになる街。

を実現した。

所感　　松下電器の工場跡を利用して、市と企業が一体となって都市づくりを行った良い例である。

戸建て住宅、施設、公共エリアに太陽光パネルや蓄電池、省エネ設備を導入。町全体で二酸化炭素排出量の大幅な削減を目指している事や、節水商品の導入や、雨水を積極的に利用するなど、町全体で水使用量を最小化している等,これからの街づくりには必要であるし、そのように計画すべきである。

街の中を走る自動配送ロボット「湘南ハコボ」、次世代型モデルハウスでのペロブスカイト太陽電池など拝見できた。

これからうまれる世界のスマートタウンの良いお手本になると感じた。

分譲地等で作られた街は、最初は活気があるが、住まわれる人が歳を重ねていく上で廃れてしまう傾向があるが、このような街づくりをすればそのような事は無いような感じがした。

たまたま、自分たちの視察が「記念すべき４万人！」であった。

視察日	令和６年３月28日（木）
視察地	宇都宮市ＬＲＴ（栃木県）
調査項目	・ＬＲＴを導入するに至った背景や路線ルートなどの検討法 ・運行を開始し、実際の市民の反応や運行の課題 ・交通政策における今後の展望
目的	宇都宮市のＬＲＴを調べて、浜松市にもＬＲＴが必要なのか？導入できるのか？を調べるため。
説明	芳賀・高根沢工業団地、芳賀工業団地・清原工業団地に通う人たち等で鬼怒川の橋が交通渋滞の解消が目的。 当初は、ＬＲＴ・モノレール・２連バス等が案に出たが、いろいろな条件よりＬＲＴに決まった。 事業費は684億円（国補助326億円・市町村負担358億円） 芳賀・宇都宮ＬＲＴ事業は「公設型上下分離方式」を採用した。

現在、予定よりも利用者が増えている。

ＬＲＴを基軸とした階層性のある公共交通ネットワークの構築。

所感　　宇都宮市は、ＬＲＴ導入より交通渋滞が緩和され、そして、導入した車線は、６車線道路を利用されたとの事です。

どうしても ２ 車線はＬＲＴを導入するには必要となると浜松市では、道路の事をよく考えていかないといけない。

宇都宮市では、浜松市では「浜松都市環境フォーラム」のＨＰが素晴らしいとの話でした。

これだけの知識があれば、すぐにＬＲＴの実現ができると！

ＨＰには、すでに計画路線や運賃等も記載されています。

渋滞緩和対策としても、車社会の浜松市としての脱炭素対策を考えるとＬＲＴも考えていかないといけないと感じる。

令和６年３月３１日

自由民主党浜松　会派視察　（Ｂ班）藤沢、宇都宮

■藤沢サステナブルスマートタウンの視察について所感

藤田典良

藤沢駅からタクシーで10分ほど進むと、建物の形や道が整然と並ぶ街が目に入った。明らかに何かを目的として建てられた町であると感じられ、未来の町を表現したものに思えた。松下電器（パナソニック）の工場跡地に建てられたのは、単なるスマートタウンではなく、新しいサービスや技術を取り入れた「エネルギー、セキュリティ、モビリティ、ウェルネス、コミュニティ、災害有事の対策まで備えたサステナブルスマートタウン」である。

最初に案内されたのは、大手書店の蔦屋が運営する建物で「Ｔサイト３号館」と呼ばれるものであった。おしゃれなカフェを思わせる会議室に通され「藤沢ＳＳＴ」の概要説明を受けた。

○エネルギー面では、自分たちで使うエネルギーは自分たちの家で作り、無駄なく使う「自産自消」のエネルギーマネジメントが実現しており、すべての戸建て住宅には太陽光発電システムと蓄電池が備わっていた。藤沢ＳＳＴに家を建てる際には明確な基準があり、メーカーは問わないものの太陽光パネルの設置や蓄電池などの細かい基準を満たしていない住宅は立てられないようになっていた。また、東日本大震災の経験を活かし、停電時も太陽光で作った電力とエネファームが発電する電気のどちら利用が可能であり、非常時もエネルギーを絶やさない工夫がされていた。本市においても南海・東南海・東海地震によって相当な被害が予想されている、災害有事に強いまちづくりを行う上において、またカーボンニュートラルの面においても太陽光からエネルギーを生み出し自産自消の都市づくりをしていく必要性を感じた。

○セキュリティ面では、ゲートや柵で街を閉ざすことなく「バーチャルゲートタウン」が実現されていた。壁がないことで心理的な障壁も取り払われ、住民同時のコミュニケーションが活発に行われ、お互いに適度に見守り合う「あたたかいセキュリティ」が生み出されていた。

○モビリティ面では、様々なモビリティをシェアしており、電気自動車や電動自転車などのシェアリングサービス、充電バッテリーを貸し出すバッテリーステーションも設置されていた。車を使う時間帯や目的地までの距離や環境などの使用シーンやニーズに応じて、車や自転車を選択でき車を所有していない人の行動範囲も広がるように感じられた。

○ウェルネス面では、子どもからお年寄りまですべての住民が健やかに自分らしく暮らしていけるよう特別養護老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅、薬局、訪問介護サービス、クリニック、保育所、学習塾などが一体となったウェルネススクウェアが作られており、すべての住民がつながりを持ち、お互いに支え合う形が作られていた。現在も高齢者向けの賃貸マンションが建設中であり、ファミリー向けの戸建て住宅に加え、高齢者が単身でも生活できるような循環型の都市形成が継続されている。

○コミュニティ面では、誰もが簡単に利用できるワンストップのポータルサイトが備わっており、家庭のエネルギー使用量の確認をはじめ、地域サービスやポイント制度、モビリティサービスの予約、コミュニティ内の情報交換など様々なサービスのコンテンツが用意されている。55インチのテレビも各家庭に支給されており住んだその日から利用することができるということであった。

自分の住む町の近くにも、工場跡地を利用した「一条タウン西伊場（スマートタウン）」が誕生し

話題となった。マンションと戸建て住宅、保育施設のある文教エリア、スーパーやクリニック、カフェが併設されている。新しい都市の形として、様々な地域でこのような街が形成されていくことが、今後増えてくるように感じる。本市でも少子高齢化が進み、コンパクトシティ化がますます加速していくことが予想される。藤沢ＳＳＴの視察で得られたものを都市づくり、街づくりの計画に活かせると感じた。

■宇都宮ライトレールトランジット（ＬＲＴ）の視察についての所感

藤沢の視察を終え宇都宮駅に到着し、西口からペデストリアンデッキを抜けてホテルに向かう。かつての宇都宮駅は、線路によって東西が分断されており西側と比較すると、東側の開発が遅れていたという。ホテルに荷物を置いたところで、早速、宇都宮駅内に設けられた真新しい東口自由通路を通り、宇都宮駅東側に足を運ぶ。東側には、きれいに舗装された街並が広がり、地元名産の大谷石で装飾された新しいビルや建設中の建物も目に入る。ＬＲＴ宇都宮停留場も混雑が見受けられ都会の喧騒を感じ、明らかに西側のそれとは様相が異なって見えた。

２００４年に就任された佐藤市長の肝いりで、公共交通と都市整備を一体的に整備したことでその相乗効果が大いに発揮されているように思える。宇都宮駅からつながる自由通路からエスカレーターで降りれば、ＬＲＴ、路線バス、企業のバス、タクシー、送迎車両に乗車でき、交通システムが強く連結していることが分かる。そもそもこのＬＲＴの事業は鬼怒川通の慢性的な渋滞を解消すると同時に、清原工業団地や芳賀、高根沢工業団地等の産業拠点を結ぶ公共交通機関として整備されたが、新たな公共交通が開通したことにより沿線にはマンションの建設が相次ぎネットワーク型のコンパクトシティが形成されつつある。また、ＬＲＴ平石停留場に隣接する敷地には体育施設の建設が決まっており、あたり一面たんぼであった土地が、ここ数年で一気に開発が進み都市が生まれ変わる瞬間を目の当たりにし、宇都宮を良くしようとする目には見えないが他市感感じるエネルギーを肌で味わうことができた。

整備事業の概要として、交通拠点施設（ライトキューブ宇都宮）を中心に、交流広場、宇都宮テラス、高度専門病院、分譲マンション、自転車駐車場などの都市機能が集積されている。交流広場を中心に商業施設やホテル、オフィスが接続しており利便性と機能性が飛躍的に向上しており、西側よりも賑わいは東側へと移り活気に溢れていた。ＬＲＴ事業の話が出た当初は反対派が半数近くを占めており、中心市街地として発展してきた西側の住民はもちろん、開発が進んでいなかった駅東側の地域住民からも路面を走る危険性を上げられ、反対の声が多かったと伺った。しかし、開通を契機に東側の発展を目の当たりにした人たちが、西側の開発はいつになるのか？と、宇都宮駅西側の都市再開発、ＬＲＴの開通を熱望する声も上がったと伺った。

本市も宇都宮と同時期に、自由民主党浜松会派の議員や有識者からＬＲＴ（新たな公共交通）の必要性が訴えられ、議会質問でも上げられたが、前市長がこれを否定し、事業が進むことはなかった。もちろん、宇都宮と本市が全く同じ条件ではないものの、明確なビジョンをもとに堅実に都市づくりに取り組んだ宇都宮と本市の差は歴然である。宇都宮では、二元代表制で選ばれた市長がＬＲＴを主軸として都市整備の旗振りをし、反対する議員や市民を説得し、ＬＲＴの有無を市長選で問う形で行われた。僅差で選ばれた市長が事業を推進してきた宇都宮と、市民を代表する議員の声も届かず、市長が反対していた本市では出発点がそもそも異なっている。令和５年の統一地方選挙で市長が変わり、中野祐介氏が選ばれたことにより本市がさらに発展することを願ってやまない。

令和６年４月１日
自由民主党浜松

視察報告書



浜松市議会議員

鈴木裕之

日時：2024年3月27日（水）10：00～12：00
訪問先：FujisawaSST
目的：先進的なコミュニティ形成を図っている藤沢サステナブル・スマートタウンの街づくりの現状を調査し、本市における街づくりの展望を模索する。



【要旨】

①藤沢サステナブル・スマートタウン構想について

藤沢サステナブル・スマートタウン（以下、SST）が造成された地は、元々、松下電器産業株式会社が関東進出のため1961年に工場を立てたことから始まる。2008年に松下電器産業が撤退後、この跡地において地権者等の事業者から「地域から地球に拡がる環境行動都市-藤沢」の先導的モデルプロジェクトとして藤沢SSTの実現を目指したまちづくりが始まった。2011年に南北300m、東西600m、敷地面積19ヘクタールの土地を活用した藤沢SSTまちづくり方針を策定。2012年に土地区画整理事業・工事に着手。2014年にグランドオープンし、現在で10年目となる。

②SSTが目指すもの

生きるエネルギーが生まれる街をコンセプトに、 企業、行政、大学、住民の皆様が競争しながら地域 社会課題解決に取り組み、持続的に進化し続けるまちづくりを目指している。

③SSTの概要

・現在、566世帯、約2000名が住んでいる。住宅を購入する層は大体30代～40代の世帯が多く、子どもがいるファミリー層が約75%。ただ、オープンして10年が経ち、年齢層は40代～50代になってきている。SST内の自治会長は40代。

・2024年秋にシニアレジデンス「パークウェルステイト湘南藤沢SST」がオープン予定。

60歳以降の方が対象で間取りは1LDK～2LDK。老人ホームも併設しているため、体調が悪くなった場合、介護のしやすい部屋に移動して継続して住むことができる。全て賃貸扱いで約500世帯を見込む。

・FujisawaSST協議会は、代表幹事のPanasonicをはじめ、Gakken、CCC、ヤマト運輸、三井不動産、などの幹事会員11社、アクセンチュア、ALSOKなどの一般会員4社、藤沢市などのアドバイザー5団体による構成員で成っている。

・次世代型自治組織「藤沢 SST コミッティ」は、住人主体の街づくりの根幹を担っている。街の全体目標達成に向けて、各種イベントやお祭り、習い事教室、エコに関する勉強会などを企画し、住人や周辺住民と交流を深め、リアルなコミュニティも醸成している。
・Fujisawa SST SQUARE には、藤沢 SST マネジメント株式会社のオフィスである SQUARE Office があり、街の住民や周辺住民、行政、企業、大学などが連携をして持続可能なまちづくりを進めるための拠点として個人や組織が協力をして様々な取り組みを行っている。また、SQUARE Mobility として環境に配慮したカーシェアも行っている。SST は、交通利便性が特別良い立地でもないため、一世帯 1 台の車の所有を認めている。また、街のエネルギー情報を収集して再生可能エネルギーや生活用水の削減率、CO2 削減量などの環境目標に対する達成率が、日、月間、年間の目標達成率などで可視化できるようになっていてここで確認できるようになっている。その他、町の中に設置されている 47 台の見守りカメラをリアルタイムに確認することができ、例えば災害が起きた時にこの画面を使って各地の状況を確認し、復旧に向けた支援活動が迅速に対応できるようにしている。

・SST の住人になると、必ず 55 型のスマートテレビが支給され、住民と町とのコミュニケーションツールとして活用している SST ポータルサイトを活用することができる。サークル活動の情報やちょっとしたつぶやき、街からのお知らせ等もここで確認することができるため回覧板は回さない。しかし、藤沢市は広報誌を月に 2 回発行しているため、これまでは班長が折り込み作業をしてポストに入れていたが、今後は PDF をオンライン掲載して紙媒体が欲しい人は SST マネジメント等のオフィスに取りに来てもらうということに変わっていく予定。 また、このポータルサイト上でモビリティサービスや集会所の予約が可能。その他、防犯防災情報や SST 内の 3 つの公園のリアルタイム映像を見ることができる。
・SST 内の自宅の売買は自由に可能。ただ、オーナーが不動産会社に依頼すると、その不動産会社から SST に情報共有され、購入する場合は必ず同じような流れで事前説明を行って、様々なことを承諾いただいてから入居の運びとなる。自宅の建替えも全てルールに基づいて行ってもらう。景観はもちろん環境性能も揃えることを求めているが、建替えの際の住宅メーカーは自由に選択が可能。



・SST 内で発電した電気を売電する事業を行っている。
・スクエアガーデンにある石柱は、非常時にはテントを張ることができる。また、屋根ソーラーパネル、柱にコンセントが付けてあるため、非常時には SST の防災設備と

して活用することを目的としている。また、災害用のトイレも２基設置してあり、普段使用できるベンチは非常時にはバーベキューグリルに活用できるようになっている。

・街は湘南の光と風を取り込む設計となっていて、住宅と住宅の間に歩行者専用通路が設けられおり、家に風や光を通しやすくなっている。これは、エアコン等の暖房器具の使用を抑え、CO2 の削減に繋がっている。

・集会所の横に設置されている３台の駐車場には、EV の電気を集会所で使うことができるようになる配線設備が設置されており、非常時の電力として活用できるようになっている。

・コワーキングスペースのシェアラウンジがある。定額プランがあり、１ヶ月約３万円のパスを買って毎日通われている方も多い。常時、席の８割は埋まっている。プラス料金でアルコールが飲めるプランもある。







④スマートハウス

・駐車スペースにある eneplat システムは、太陽光で発電した電気を電気自動車と蓄電池に蓄え、住宅内に放電できる自家消費モードを搭載。

・透明有機 EL ディスプレイは、ガラス真空貼り合わせ技術により、高い透明度を実現したディスプレイ。背景が透けて見えることで空間を遮断せず、リビングに溶け込むことができる。未発売の商品。

・ガンマ波サウンドケアシステムは、ガンマ波変調技術を搭載し、音刺激による脳の活性化及び認知機能改善が期待されている。

・ミロモというデジタルミラーは、ストレスレベルを可視化し、鏡に映るゲームを楽しみながらストレス解消を図ることができる。

・冷暖房、空気清浄、全熱交換換気、これらの機能を１つにした全館空調熱交換気システム「ウィズエアー」は、室内外で発生した汚れた空気を浄化し、家全体を綺麗な空気で満たすことが可能。

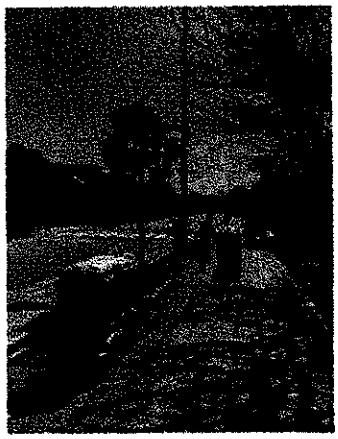
・家庭用燃料電池「エネファーム」は都市ガスから取り出した水素と空気中の酸素を使って自宅で発電し、発電時の熱でお湯を作るコージェネレーションシステム。
・浴室にはミストサウナ付き浴室暖房乾燥機を搭載。
・インテリアには、収穫期を終えたアブラヤシ廃材から地球温暖化の一因となるメタンガスが放出されている。この廃材を原料とした「PALM LOOP」ボードで家具材料として活用することで温室効果ガスの排出削減に貢献している。
・ペロブスカイト太陽電池で世界最高レベルの発電効率を実現。従来の太陽電池と異なり、透過性やデザインを付与し、ガラス建材一体型のまち・暮らしに調和する太陽電池で、昨今求められている創エネ、ZEH、ZEB 化を加速。ここで実証実験を実施していたペロブスカイト太陽電池はフィルムタイプで、制作費用や制作過程における CO2 の排出を 6 分の 1 程度に削減することができる見込み。5 年を目処に実用化を進めていく目途で各社が進めている。従来のソーラーパネルは、これまで屋根等の隔離したところに設置するものだったが、窓や壁に設置することが可能になることによって発電できる場所が増え、パネルを設置するのが難しかった建物や都内など、様々なところに取り付けられるようになり用途が広げられる。配線は手すり部分に入ってすっきりとしたデザインになっており、窓の景色を見たい時は薄めのフィルムを、そうでない場合は濃いフィルムにするなど、デザイン性や設置場所によって臨機応変に検討が可能になる。

【所感】

住民同士が自由に活用できるトータルモビリティサービスをはじめ、地域間のコミュニティ形成のための様々な仕掛けがあるところに、未来の地域コミュニティの一端を垣間見た気がした。人に優しく地球にも優しい街として、車を買うのではなくシェアする環境に配慮した街づくりの形や、大学、自治体、住人、企業などが共創し、「街をつくる」から「街を育てる」へ共通の価値観をもとに新しいサービスを生み出していく姿は素晴らしいと感じた。また、住民がポータルサイトからいつでも自由に意見を言ったり、お花見等のコミュニティ形成を提案でき、常に新しい発見がある街を模索する様はデジタル都市のモデルになるだろう。

防災に対しての危機感も顕著だ。東日本大震災の教訓をまちづくりの中に率先して取り入れ、テントの設営や災害時のマンホールトイレ、バーベキューグリルまで備えていた。また、SST 内に設置された様々な発電システム及び蓄電設備により、非常時には 3 日間の必要電力を賄うことも可能とのこと。こういった様々な先進的な取り組みは浜松市が学ぶところも大いにある。SST のモデルは、藤沢市をはじめ、大阪の吹田 SST、神奈川の綱島 SST など着実に広まっている。エネルギーを始めとした持続可能な都市の形成と新しい地域コミュニティの在り方を模索する上で非常に参考になる視察であった。





日時：2024年3月28日（木）10：00～12：00
視察先：宇都宮LRT
目的：宇都宮市の交通政策の現状を視察し、LRTを導入のメリットやデメリット、運行開始後の課題等について調査し、宇都宮市の事例を参考に本市における未来の交通政策を模索する。

【要旨】
①宇都宮市が目指す街づくり
・宇都宮市も少子高齢化に伴い、社会環境が変化しており、今一度まちの在り方を見直しているところ。子どもから高齢者まで誰もが安心して住める街づくり、夢や希望が叶う街、スーパースマートシティを作っていくために、ネットワーク型コンパクトシティ（NCC）を目指している。
・NCCとは、これまでの 都市の成り立ちを踏まえ、中心市街地に加え、それぞれの地域拠点、産業、観光拠点に街の機能を集約し、それらをLRTやバスなどの利便性の高い公共交通ネットワークなどで連携した持続可能な都市の姿。その構想の拠点、中間になるのがLRT。
・地域拠点、観光拠点、産業拠点など、こういうものを拠点化し、LRTをメインとした、バスや地域内交通で繋ぎ、その結節点にトランジットセンターを作っていって結節機能を果たしていきたい。
・NCCを進めるにあたって、以下を強化していきたい。一つは、LRTの整備。宇都宮駅を起点に駅東側と駅西側とあるが、駅東側は2023年8月に開業。非常に順調に運営できている。今後の課題としては、駅西側の方に向けて延伸していくこと。二つ目に、LRTと重複するバス路線をうまく振り分けて、公共交通空白地域を解消していきたい。





②LRT を導入した背景

・鬼怒川に掛かっている 2 つの大きな橋を越えたところに清原工業団地、芳賀・高根沢工業団地がある。これらの工業団地だけで約 3 万 6000 人の社員の方がおり、その 70%の方が宇都宮から通っているということで、どうしても橋の大渋滞が課題だった。

・政権交代で 5 年ほどは構想が凍結された時代があったが、それを乗り越えて LRT がいいのか、モノレールがいいのか、BRT がいいのかなど、色々検討重ねてきた。CO2 を排出しない点、1 度に大量の輸送が可能という点、比較的設備が安価にできる点で LRT に決めた。LRT は当然電気で動いているため、一切 CO2 の排出はない。宇都宮市の場合、3 両で 1 編成という形で約 160 人を乗せることができる。・宇都宮市の職員も何も皆が LRT を実現して欲しいとは思っておらず、どちらかといえば邪魔だと思っていた。市長が 3 回目の選挙の時に僅差で反対派に勝利し、そこから一気にスタートしたが民主党政権になって一時は止まってしまった。自民党政権に戻ってから再度始まったが、LRT なんか通るわけがないだろう、通したとしても乗る人がいないからすぐに赤字路線で廃止だと、市役所の職員も思っていた。しかし、通してみてがらっと変わった。

・平成 30 年 5 月に工事着工し、2023 年 8 月 26 日に開業。全線で 14.6km、すべて複線。





③LRT について

・LRT を採用するに至ったのは、専用空間を走行するため時間に正確であり、騒音や振動が少なく快適な乗り心地であるという点。これはレールを敷設する際に特殊な処理をして振動が出ないようにしている。車両が低床式で乗降が自由でしやすい。プラットホームとの段差がほとんどないため、ベビーカーや車椅子でも非常にスムーズに乗降が可能。

・デザインコンセプトについては、普遍性、独自性、展開性の観点から本地域の気候風土の象徴である雷が最も望ましいとし、雷の恵と同様に、LRT が未来に向けて恵みを与えてくれる役割を担っていくものとして、「雷都を未来へ　LRT による未来のモビリティー都市の創造」と設定した。

・宇都宮市は非常に雷の多いところ。7月、8月になると毎日のように雷が鳴る。 ただ、宇都宮市民は、雷は雨を降らせて稲穂を育てる水を運んできてくれるということで、雷様と呼び、雷を恵みの象徴というふうに捉えている。
・雷の黄色とその雷が育ててくれたイナゴの黄色、これをシンボルカラーとして作っている。したがって、駅の表示だとか電車の中も全てこの黄色と黒を基調として作っている。
・車両は新潟トランシスで建造。

・事業方式は公設型上下分離方式で、軌道整備事業者は宇都宮市と芳賀町として、軌道施設や車両を整備保有し、維持管理の責任を持ち、宇都宮ライトレール株式会社が軌道運送事業者としてそれらを借り受け、運行サービスを提供。
・宇都宮ライトレール株式会社はそれほど多く費用的なものを負担してはいない。宇都宮市としては、今回かかった費用は基本的に 20 年のローンで払っていくということで、これは市の財政上でも 1%行かない形での返済になるため、大きな問題はない。これを実施するために他の費用を削らなければいけないというようなことでもないため、こういう形で公設型上下分離方式を採用した。

・停留所は 19 箇所、全てが 100%バリアフリー。トランジットセンターは 6 カ所、導入車両が 3 両で 1 編成、17 編成を現在所有。
・2024 年 4 月から快速運行を始める予定で、新たに 2 両追加して 19 編成となる予定。
・車両の長さは、3 両全体で 29.52m、車両定員は座席が 50 席、立席入れて全部で 160 人が乗車可能。
・概算事業費は 684 億円。負担割合は国が半分、宇都宮市と芳賀町が残りの半分を負担。第 3 セクターが担当してしまうと 3 分の 1 しか国から予算を取れないため、行政がしっかりと真ん中に入るという形になっている。684 億円の内訳は、軌道関係が 611 億円、車両関係が 73 億円。すでに開業から 200 万人を突破。

・吊り革は普通の丸い釣り革ではなく、長時間握っていても疲れないという四角にとした。
・ボックスシートにした理由は、電車が電動式のためモーターがどうしても車線の中にこう上がってくることが由来。背もたれの下にモーターが入っている。山手線形式のようなベンチ式の長いシートは作れなかった。
・特出するところは、ゼロカーボントランスポートの実現。全て電気で CO2 は一切排出しない。その電気はどこきているかというと、家庭ごみの焼却によるバイオマス発電や家庭用太陽光などにより、発電された電気を宇都宮アライトパワー株式会社がそれを全て調達し、LRT に送っていくという形を取っている。

・トランジットセンターでは、LRT が走っている駅に来たバス、それから市民が自宅から乗ってきた自転車や車、デマンド交通、これらがこの駅でしっかりと乗り換えができていくというような設備を作っていこうという考えで作った。トランジットセンターの駐車場は全て無料。予約制はしていない。利用者が多く、駐車場が足らなくなり、約 100 台の駐車スペースを追加した。本来はバス路線をこの隣のセンターに付ける形で新設したため、バスに乗ってきてもらえれば当初作った駐車場スペースで十分だろうと考えていたが、やはり宇都宮市は車社会で、皆さん、バスよりも車の方が便利だということで、車の利用が非常に多く駐車場が足らなくなったというような背景。
・駅の方に入ってきていたバスは全て廃止し、余ったバスを新しい路線に当てたり、もしくは今まであった路線で 1 時間に 1 本だったところを 2 本にするなど、バス路線の充実を図っている。
・IC カードとして、totra を作った。基本はあくまでも suica だが、宇都宮市として独自サービスとして、宇都宮市内で使う分には交通ポイントを 2%付与したり、高齢者の外出支援事業ということで 70 歳以上の方については 1 年間で 1 万ポイントを渡している。

・1 日あたりの需要予測は、3 年後にこの数字であればなんとかこの会社は成り立っていくだろうということで予測していたが、今のところは想定以上に非常に順調に運行できている。
・運賃は 80 円～400 円で、400 円のところまでだと大体 45 分ぐらい乗車。運賃の値決めは日本で今、宇都宮入れて約 18 の路面電車が走っているがそういった他都市を参考に運賃を決めた。
・運転時間帯は午前 5 時～23 時ぐらいまで。宇都宮駅の新幹線の始発と終電に対応させていただく、幅広い時間帯で営業をしている。
・運行感覚は、オフピーク時 12 分、ピーク時が 8 分ということで運行している。昨今、現金収入よりも IC カード利用が非常に増えてきており、今や 90%以上が IC 利用のため、乗降時間に時間がかからなくなってきている。そのため今後は運行感覚を見直していく予定。かなりスムーズに運賃収入もできている。
・1 日乗車券を 2023 年 12 月 6 日から発売したが非常に好評を得ている。





・マンションや運動公園もそうだが、企業の投資も増えて人口流入しているというのは、LRT による経済効果が予想以上に出ている。市外から宇都宮へ LRT を見に来るっていう人もいる。そこだけでも宿泊や飲食など経済効果は大きい。そういうところも総合的に勘案すると、投資額に見合うものであり、回収も可能。
・基本的に雪に対する対策はほとんど行っていない。宇都宮は 1 年間で 3 日程度しか積雪はない。
・運転手の採用は多すぎる応募がある。75 年ぶりに完全に 1 からの新設ということで、長崎など全国各地から応募がある。今のところ運転手の不足はしてない。
・今のところ接触事故は 3 件のみ。今まで車社会だったため、右折の仕方がわからない方がいたことが要因。市民も慣れてきたためか、2024 年になってから事故は 1 件もない。
・最新式の電車のため、様々な設備がついている。先日もあったが、運転手が途中で体調不良で倒れたことがあった。ところが、LRT には運転手の足元にペダルが 3 つあり、そのうちの左足のペダルは運転するときにずっと踏み続けてないと電車が動かない仕組みになっているため、体調が悪くなって足が外れちゃうと、電車はその場ですぐに停止し、一切動かなくなる。そういう意味では非常にいろんな面で安全面は考慮されている。

④課題について
・LRT 実現のため、アドバイザーとして広島電鉄の方を招いて考えたり、用地買収も必要だったため、そもそも市がどういうことをやりたいのかを、いろんな地区、特に沿線地区の市民に、何度も市長が説明会を実施したり、富山まで全地区の方をお連れして乗車体験してもらったり、そういったところが大変だった。
・浜松には浜名湖があり、観光要素がいっぱいあるが、宇都宮は観光設備がないのがネック。
・反対派の方も多くいたが、街がこんなに開発されて、経済効果も出たということを LRT が運行して体感すると、反対派はほとんどいなくなった。懐疑的だった駅の西側の人達も、これなら西側もぜひ早くやってほしいという声を聞くようになった。新しい小学校ができて、850 人もいきなり生徒が増える、町の人口が増える、地価が東口側だけ上がっているなどを目の当たりにすると説得力がある。
・従来のバス路線を変更、廃止することに対して、バスを運行する関東バスに理解してもらった。今では運営会社であるライトレール株式会社に出資もしてくれている。

⑤今後について
・平石駅前には、東日本で 1 番大きな運動公園が 2 年後に出来る予定。ラグビーやスケートボード等、オリンピックで有名になった競技ができるような形にする。

・西側にもオフィスビルや市街地の商店街があり、高校、大学もあるため通勤通学という需要は当然ある。全体として、市全体の公共交通を良くしていきたい想いがあるため、西側もしっかり通していきたい。
・宇都宮駅西側については、宇都宮駅西口から作新学院まで、まず5kmを整備期間として検討している。2035年ぐらいまでに開業させるという意向。その後はさらに郊外の大谷まで通したい。
・宇都宮市の場合、新幹線の駅で東と西が分断されており、どうしても発展にやはり差が出てくることがある。東側は非常に発展が遅れてきたところでもあるが、今回東側が発展したことで西側についても同様に発展させていきたい。





【所感】

黄色が映える真新しい車両が走る宇都宮市。TVで早くも200万人突破というニュースを見たところだった。ゼロから構想し、反対派の強い抵抗に遭いながらも市民への丁寧な説明を繰り返し、灯火を消すことがなかった市長の熱意がよく理解できた。すでにLRTが整備されている宇都宮駅の東側は全ての開発予定が終わっているわけではないが、未整備の宇都宮駅西側と比較すると令和と昭和の違いを感じた。 宇都宮には観光資源がなく、働く方々の乗降者数を見据えたLRT整備だったが、予想を上回る乗降者数を達成しており、それ以外にも郊外の方が中心市街地に移り住んだり、LRT路線の付近にはマンションが新たに立ち並んだり、地価や上昇や人口増加など、非常に魅力が溢れる計画であり、メリットの多い事業だと実感した。 浜松市には、浜名湖を始め、海や山、そして徳川家康公を始めとした神社、お寺などの多くの歴史遺産もある。それらへのアクセスを容易にするためのLRT計画を浜松市も検討しては良いのではないだろうか。浜松市で育った若者が県外へ出てしまい、浜松に帰ってこないその大きな理由の一つに、市内の交通アクセスの不便が上がっている。

これから浜松の未来を担う若者のためにも、未来の浜松の住みやすさ、在り方を考える上でも、浜松の新しい交通政策を考えるときに来ているものと感じ、宇都宮市でその先見性に触れられた気がした。引き続き、宇都宮市を始めとした他都市の交通政策について学びを深めていきたい。

令和６年３月２９日

自由民主党浜松Ｂ班視察報告書

柳川樹一郎

視察日程　令和３月２７日（水）～２８日（木）

視察先　神奈川県藤沢市　Fujisawa　SST　マネジメント株式会社
栃木県宇都宮市　宇都宮ライトレール株式会社

視察項目
・藤沢サステナブルスマートタウンのマネジメント・防災、カーボンニュートラル、ウェルネス等のまちづくりの実情について（藤沢市）
・ＬＲＴを導入するに至った背景や路線ルートの検討手法（藤沢市）
・運行を開始し、実際の市民の反応や運航の課題（宇都宮市）
・交通政策における今後の展望など（宇都宮市）

視察日　令和６年３月27日（水）
視察先　藤沢市　Fujisawa　SST　マネジメント株式会社
藤沢市SST（Fujisawaサステナブルスマートタウン）
Fujisawa SST SQUARE

視察内容　タウンマネージメント・防災・カーボンニュートラル・ウェルネス等のまちづくりの実情

説　明

生きるエネルギーが生まれる街をテーマにまちづくりが計画されていました。100年先も「生きるエネルギー」が生まれる街になるように、住宅、商業施設健康・福祉・教育施設、公園、街区などを理想のもとに計画したとのことでした。５つの生きるエネルギーにそれぞれのテーマがセットしてありました。

Fujisawa Energy「太陽」という生きるエネルギー

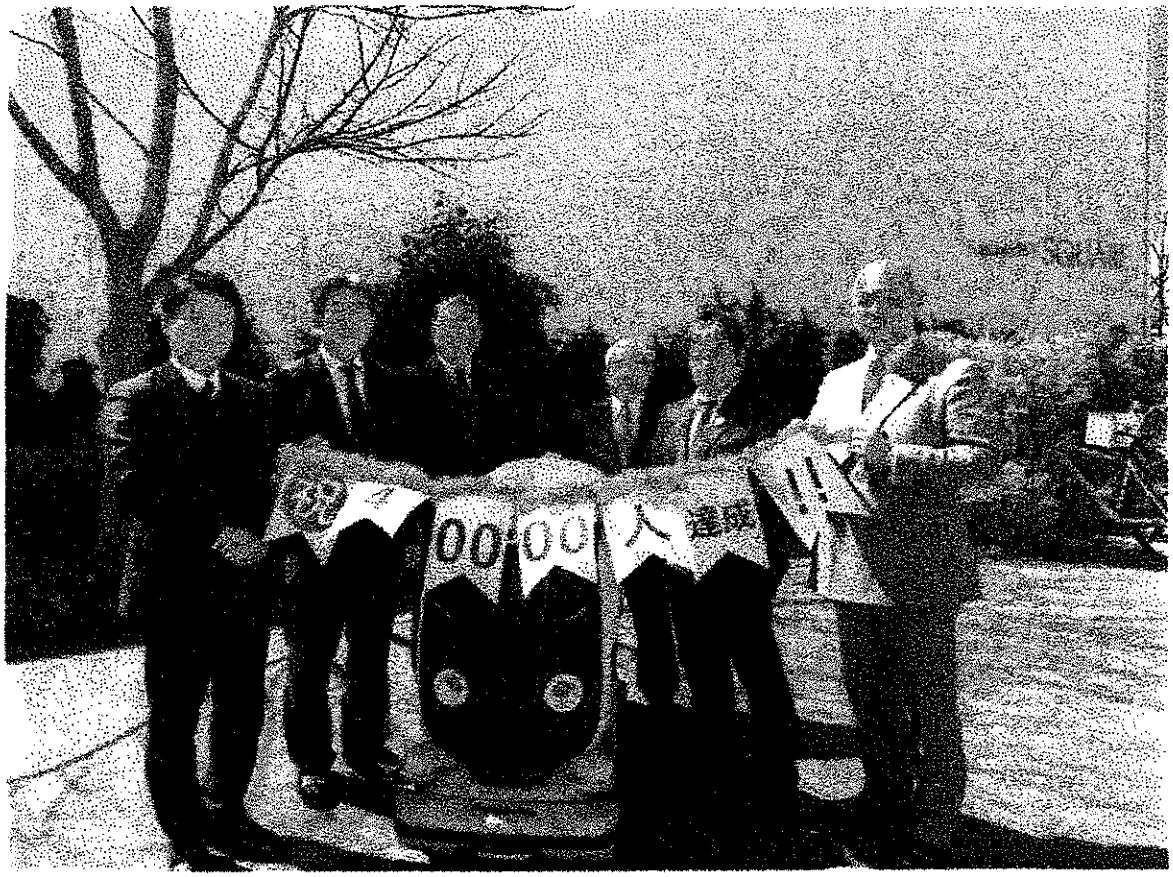
藤沢の光と風を街丸ごと生かす街、自然のエネルギーと「創エネ・蓄エネ・省エネ」などの先進技術のハイブリットによって、自産自消のエネルギーマネジメントを実現、もしもの時も希望の明かりをともす街

東日本大震災を経験したことによる、電力の重要性を、身をもって実感していることです。

Fujisawa Security　「安心」という生きるエネルギー

街のみんなの安心・安全を見えないゲートで守る街（バーチャル・ゲーテッドタウン）という、新しいセキュリテイサービスで、安心安全なくらしを実現

街の全体が約50台のカメラにより見守られている。



藤沢 SST の記念すべき 40,000 人目の来訪者となりました

Fujisawa Mobility 「行動」という生きるエネルギー車に乗る人もエコになる、「トータル・モビリテイーライフ」

車に乗らない人もアクテイブになる街、電気自動車（EV）や電動サイクルシェア、レンタカーデリバリー等を使い分けて提案・提供をする。さらに、電動自転車のバッテリーが街のいたる所で充電できるシステムになっています。

Fujisawa　Wellness「健康」という生きるエネルギー

街にかかわるすべての人が、ふれあいながら健康になる街、日常の生活の中で街にかかわるすべての人がふれあいながら健やかになれるくらしを提供する。

医療・看護・介護・薬局が連携し、シームレスなサービスを提供する。さらに,「地域包括ケアシステム」を導入している。

Fujisawa　Community　「つながる」という生きるエネルギー

住人、周辺住民、街で働く人、みんながつながる街、未来へと価値がつながっていく街です。必要な情報をポータルサイトで、ワンストップで提供。人と人が人と街がつながり合えるコミニュテイを実現。

街の人々や、地域の情報とつながることができるネットワークを使った先端サービスを子供からお年寄りまで誰でも手軽に享受できる。そんなコミュニティ・プラットホームを提供しています。住んだその日からすぐに利用できます。住人によって運営される次世代型自治組織「Fujisawa SST コミュニティ」などを通じて、リアルなコミュニティ活動も活性化させていきます。

所　　感

以上５項目に対し説明を受け、街の様子を見学しました。公園では、子供たちがボール遊びをしたり野球をしたりしていました。まさに新興住宅地域でした。

Fujisawa SST を視察させていただき、まさに未来都市・未来の街といった創られた都市型住宅団地と感じました。

本市の市営住宅団地において、団地の在り方の根本を新たな意識づけのもと、サスティナブル・スマートにしていく方策を早く取り入れていく必要があると思います。



視 察 日　　令和６年３月 28 日（木）
視 察 先　　栃木県宇都宮市　Fujisawa　SST　マネジメント株式会社
調査項目　・ＬＲＴを導入するに至った背景や路線ルートの検討手法
　　・運行を開始し、実際の市民の反応や運航の課題
　　・交通政策における今後の展望など



説　　明

LRT 導入に際しては、浜松市と同じ時期に導入についての検討がスタートしました。宇都宮においては市長が推進派で、市長選挙の公約にまでなったものだそうです。

ルートの選定には、工業団地と都心部を結ぶもので、工業団地の朝夕の通勤には欠く事の出来ないものとして計画されました。工業団地の有力企業には、ホンダがあります。

運航を開始してからの市民の反応や課題は、運営会社としては、朝夕は、乗客の利用者あるが、日中は空気を運ぶものになることを一番心配していたと言う事です。しかし、運航開始と同時に乗客は予想以上となっていると言う事です。ピーク時には、６分間隔で運行しており、オフピークでも 10 分間隔で利用者を待たせないようにしているとのことでした、保有車両は 17 車両で、２車両を増やすことになっているとのことでした。宇都宮の LRT は車輪の軌道幅が JR の軌道幅と一緒になっており、日

光への日光線乗り入れも視野においていることでした。

事業費と財源については、総事業費が 684 億円で、国補助が 326 億円、市負担が 358 億円とのことです。

最寄りの駅からはフィーダーバスが出るなど、公共交通活性化や地域の振興に大変有益であると市民からは大変喜ばれているとのことです。

現在では駅の西側へのルートを早く施工してくれないかという声が高まっているとのことです。





駅西側へのアクセスについては、JR 東北線と JR 東北新幹線を高架で超えるという難題が問題と言っていました。このことが将来日光への観光ルートに結び付ける大きな目的があり、日光線への延長計画にもつながるものと思いました。元来、宇都宮市には、観光地といった名所や施設がなく観光の意識をこの際高めようとしていました。LRT の開通によって、日本中に宇都宮をアピールすることができました。LRT に乗ってみよう、LRT をこの目で見てみようと、観光客が来るようになってきたそうです。今や LRT が宇都宮市の観光に欠く事のできないインパクトのある事業ですと言われていました。さらに、LRT の路線ルートによる沿線の開発が進み、地域振興が目を見張る勢いだそうです。

所　感

本市においては、以前より LRT の構想がありました。市民団体の皆さん、浜松市議会においても超党派で推進議員連盟まで立ち上げ活動をしたものです。

私は、議員連盟の会長ということもあり、議会質問で LRT の模型を議場に置き質問したことがあります。また、地域においても地元説明会まで開催しました。しかし、が、冬至の市長ならびに市当局からは、その活動と計画に理解を得ることができず、LRT 実現には至っておりません。今思うと、もう少し頑張ればと反省するところです。

以上視察報告とします。

視察報告書　　花井和夫

期　間　：　令和６年３月２７日(水)・２８日(木)
視察先　：　神奈川県藤沢市「藤沢 SST(サスティナブルスマートタウン)」
　　栃木県宇都宮市「LRT　宇都宮ライトレール」

1.神奈川県藤沢市「藤沢 SST(サスティナブルスマートタウン)」

目的：2014 年 11 月の開設から 10 年となる藤沢 SST について、タウンマネジメントやカーボンニュートラルの取り組み、ウェルネス等の街づくりの取り組みについて伺うとともに現地を視察した。

説明：藤沢ＳＳＴのプロジェクトパートナー企業の共同出資による運営会社である Fujisawa SST マネジメント株式会社の[redacted]氏より事業の概要説明並びに現地の案内をして頂いた。

藤沢ＳＳＴは、東京から電車で１時間と好立地にある。コンセプトとして、生活インフラとしてのエネルギー、そしてイキイキと活力を生み出すバイタリティを持ち、「生きるエネルギーが生まれる街」を掲げている。



１９６１年に松下電器産業が関東に初進出し２００７年に工場としての役目を終えたパナソニック藤沢工場の跡地活用としてエコ＆スマートな街づくりとしてスタートした。１９ヘクタール(190,000 ㎡、東京ドームの４倍強)の土地に複合型スマートタウンとして２０２４年の完成を目指し開発が進められてきた。現在、パナソニックを代表幹事会社として１８の企業・団体による藤沢ＳＳＴ協議会でこのプロジェクトを推進している。

コンセプトを実現するため数値目標とガイドラインを設定しており、環境目標として CO2 の７０%削減と生活用水の３０%削減など、エネルギー目標として再生可能エネルギー利用率３０%以上など設定し、プロジェクトガイドライン、タウンデザインガイドライン、コミュニティデザインガイドラインを設定している。

実現のための５つのスマートサービスを提供している。

① エネルギーサービスとして「創エネ・蓄エネ・省エネ」であり、すべての住戸に太陽光発電と蓄電池、エネルギーマネジメントシステムを標準装備とし、CO2 排出削減、災害時３日間のライフラインを確保し、街全体のエネルギー情報を見える化施設伝意識を高めている。

② セキュリティサービスとして街の出入り口を限定する街路設計を取り入れ、ホームセキュリティの導入、セキュリティコンシェルジュによる巡回、バーチャルゲーテッドタウンによるサービス導入で安全安心を確保している。



③ モビリティーサービスとして電気自動車や電動アシスト自転車のシェアリングサービスの導入などしている。

④ ウェルネスサービスとして全ての世代が一生健康で豊かに暮らせる藤沢 SST 版地域包括ケアに取り組んでいる。

⑤ コミュニティサービスとして街の情報がワンストップでつながるポータルサイトの提供がされている。

タウンデザインとして湘南の光と風を取り込むため風の道を設け、街全体を緑で包み込む設計となっている。

街を支える３つのスクエアがあり

① 住人の活動拠点となる「藤沢 SST スクエア」

② 街の人々が触れ合いながら健やかになる「ウェルネススクエア」

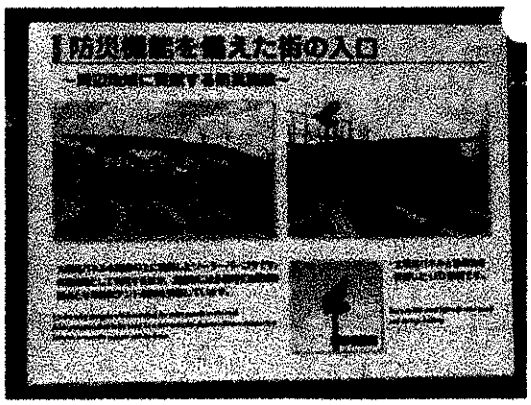
③ 宅配の未来の発信地となる一括発送を実現する「ネクストデリバリースクエア」

から成っている。

２０２４年の秋にはアクティブシニアレジデンスや多機能コミュニティスポーツ施設が開業し、多世代が集う街の更なる可能性が広がる。スマートインフラとして、都市ガスも含め災害時にも安定供給を可能にし、電灯や通信等の回線の地中化により美しく災害に強い街づくりに向けてエネルギーインフラの構築を目指している。

「共創」により住民・企業・自治体・大学等が知恵を出し合って連携し、変化する社会課題に適応し進化し続ける街づくりに取り組んでいる。また、「まち親」プロジェクトとして住人や周辺住民などみんなが主役となって参加できるコミュニティ活動が行われています。

この後、藤沢 SST 内を歩きながら様々な街の仕掛けを案内頂いた。公園で遊ぶ子どもたちの歓声が響き、無人の配送ロボットカーが走り、電動アシスト自転車を誰もが利用できる「みんモビ」があり、店舗も賑わっている。公園のベンチは災害時にかまどとして利用でき炊事ができ、防災トイレ設置可能なマンホールの設置、東屋は屋根に太陽光パネルが施され周囲にシートを張ることで休憩施設となり、集会所の屋上は見晴らしがよく災害時に避難施設となるなど工夫が凝らされている。公園横にある三井不動産のモデルハウスは、住めば自ずとエネルギーがうまれる家をコンセプトに作られており、SDGs の取り組みやコロナ禍による新しい生活様式、カーボンニュートラルの推進など社会課題の解決を目指して開発されている。遊歩道から直接入れ住民やお客様と玄関を介さずコミュニケーションを取れる「縁側テラス」は植栽により外部からの視線にも配慮されている。2 階のベランダの柵に取り付けられた透明なペロブスカイト太陽光発電装置、EV 車の電気を住宅に繋げられる蓄電システム(eneplat)、全館空調熱交換気システム(ウイズエアー)、ストレス解消のためのエクササイズができるデジタルミラー(ミロモ)、有機 EL を使った透明のディスプレーなど様々な提案がなされている。



所感：無人自動配送ロボの「湘南ハコボ」が FSST 内を走り、快適な暮らしを実現するための機器や仕掛けが揃い、行政も加わっての新しい時代の先進的な実証実験の街は住んでみたいと思わせる。藤沢ＳＳＴ構想が発表されてから１３年、事業着手から１２年が経過し常に進化し続けており、パナソニックを中心とした藤沢ＳＳＴ協議会加盟の１８の企業・団体によるエネルギー、セキュリティ、モビリティ、ウエルネス、そしてコミュニティの連携協力体制が

大きく効果を上げている。一方でタウンミーティングやイベントの開催により住んでいる皆さんが街づくりに積極的に関与し新しい事業の創出にも繋げており、素晴らしいと感じる。全国各地でも企業と行政によるスマートシティ構想が進められており、ＦＳＳＴが、単なる生活を豊かにする都市づくりに収まらず人間中心の街づくりであり、他都市のモデルとなっている。

2.栃木県宇都宮市「LRT　宇都宮ライトレール」

目的：新しい路線としてLRTを開通させ、まちづくりに繋げている芳賀・宇都宮LRT事業について開設までの経緯や運営等に伺うとともに現地を視察した。

説明：

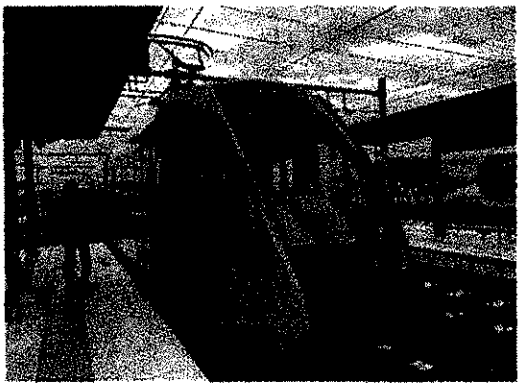
・宇都宮市の街づくりについて

社会環境の大きな変化に対応するためNCC(ネットワーク型コンパクトシティ)を目指し、その中心をLRTが担い、細部をバスや地域内交通が繋いでいくことを構想し、バス事業者とも連携を図りながら結節点となるトランジットセンターを整備していくとしている。

・芳賀・宇都宮LRT事業の概要



校外の工業団地に通う方は３６,０００人おり、70%の方が宇都宮方面から通勤しており朝夕の渋滞が課題であった。新交通システムについてはモノレールやBRTなど様々あったが、CO2の排出がなく、大量輸送が可能で他より安価にできるLRTに決定した。車両は3両一編成で１６０人の輸送ができる。軌道法に則り時速40kmで運行しいるが、今後、鉄道法に則り７0kmでの運行も検討している。レールを埋設や車輪には特殊ゴムを採用し振動や音の軽減を図り、低床式で乗降しやすいようプットホームの段差もバスと同じようにしている。デザインについては使用するフランスのストラスブールのLRTをモデルとしている。路線は宇都宮駅東口から芳賀・高根沢工業団地間の14.6kmですべて複線であり、１９ヶ所の停留所が設けられている。運行時間は5時台～23時台、所要時間も約44分となっているが、新幹線の始発と終電に対応していきたい。運行間隔はオフが10分間隔でピーク時には6分間隔としていくが、運行間もない現在は、オフが12分間隔、ピーク時が8分間隔での運航を行っている。運賃支払いが現金からICTカードになりつつあり90%以上となってきている。運賃は初乗り150円から400円なっている。事業は、平成30年5月に工事着工し去年の8月に開業している。公設型上下分離方式を採用しており、軌道は宇都宮市と芳賀町が担い、運行事業を宇都宮ライトレール(株)が担っている。車両は17両を所有しており、快速運行も予定しており2両追加し19両の所有をしてる。車両一編成(3両)は29.52mで軌道法上の30m以内となっており、乗車定員は159人となっている。



LRT の概算事業費は、684 億円で国の補助が約 1/2 で 326 億円、市町の負担が約 1/2 で 358 億円となっている。軌道関係で 611 億円、車両関係で 73 億円を使っている。利用状況は昨年 8 月 26 日の開業してから通勤利用を基本に順調に伸びている。車両のデザインは、雷の多い地域であり、雨を降らせ稲を実らせ恵の象徴として捉えており、雷と稲穂の色である黄色をシンボルカラーに据え、外装や内装など様々なデザインに使用している。使用する電気もごみ処理処理場のバイオマス発電と各家庭の太陽光発電を宇都宮ライトパワーが調達し LRT で使用している。今後は市内バスやタクシーも EV 化し利用することも想定している。トランジットセンターは 6 か所に設け、バス・タクシーや自動車、自転車など乗り継ぎする交通結節点として整備している。トランジットセンターを起点として新しいバス路線も開設している。信用乗車方式を採用しており、すべてのドア付近に IC カードリーダーを設置しスムーズに乗降ができる方式を採用している。地域連携 IC カード「totra(トトラ)」を導入し、Suica 機能に加えて独自ポイン'付加や高齢者の外出支援など地域独自のサービスを展開している。LRT は、信号表示に従って自動車やバスと同じように道路を走りますが、快適な運航に向けて LRT 専用の信号表示が点くようになっている。

今後、新幹線宇都宮駅で東西が分断され西側の発展が遅れていたが、宇都宮駅西口から西側に向けて 5km について２０３５年ぐらいの開業を目指し事業化を検討している。

このあと、実際に LRT に乗車させて頂き、車両基地のある電停「平石」まで行き、車両基地を案内して頂いた。LRT の始発駅のある宇都宮駅東口周辺の再整備で中心市街地としての賑わいもあり、活気のある街となっている。「平石」電停の周辺は田や畑が広がる調整区域であり忽然と LRT が通り電停ができた感があり、電停近くにはスポーツ施設の建設も決まっているとのことで、LRT 開通による周辺開発も進み、公共交通としての市民の足の確保とともに新しい街づくりが始まっている。



所感：浜松市議会でも超党派で地域公共交通活性化推進議員連盟を結成し、民間や大学と連携しながら、ＬＲＴ導入に限らず徒歩から自転車、バスやタクシーなど公共交通との連携など地域公共交通に関する調査研究そして浜松に相応しい公共交通の在り方を提案してきた経緯がある。宇都宮市と浜松市の状況が似ていたこともあり、宇都宮市の LRT 導入に向けた民間団体との意見交換や交流もさせて頂いた事もある。市民からも夢があり地域課題の解決にもつながる計画として導入に向けて関心が高かった。しかし、市長の考え方には大きな違いがあり浜松では計画の検討すら進むことはなかった。理由は、いろいろとあったが投資金額が大きく効果も見込めないことが大きいとのことであったが、今回の宇都宮市の事業を見聞し、政令市の中で公共交通分担率が最も低い浜松における市民の足の確保や観光振興、街づくり

などに繋がる計画である。また、本市が目指す「拠点ネットワーク型都市構造」として市内の拠点間を結ぶコンパクトな街づくりに繋がり、健康で快適な暮らしが提供でき持続可能な街づくりを進めるためにも新交通システムとしてのLRT導入等も含めた計画の検討をすべきであると改めて感じる。

科目　B 研修費

期間	令和5年分

日付	摘要	支出金額	通し番号
5月9日	①5/8開 地方から考える「社会保障フォーラム」オンラインセミナー参加費	5,000	B0501
	②上記日理込手数料 ／ 静岡銀行 浜松営業部	385	B0501
5月分		5,385	
6月2日	5月分市内出張旅費	1,443	交6-2
	5月分市内出張旅費	4,514	交6-3
6月15日	5月分市内出張旅費	2,072	交6-8
6月分		8,029	
7月4日	6月分市内出張旅費	3,922	交7-2
	6月分市内出張旅費	296	交7-4
7月13日	6月分市内出張旅費	888	交7-8
	6月分市内出張旅費	4,514	交7-9
7月14日	6月分市内出張旅費	333	交7-10
	6月分市内出張旅費	2,968	交7-11
7月18日	6月分市内出張旅費	1,184	交7-12
7月分		14,105	

8月1日	7月分市内出張旅費	962	交8-3
8月7日	5月分市内出張旅費	1,295	交8-6
8月16日	7月分市内出張旅費	1,776	交8-14
8月31日	8月分市内出張旅費	962	交8-18
	8月分市内出張旅費	999	交8-19
	8月分	5,994	
9月19日	研修会講師謝礼金【按分】	40,000	B0901
9月4日	8月分市内出張旅費	592	交9-4
9月13日	8月分市内出張旅費	4,440	交9-8
9月27日	9月分市内出張旅費	185	交9-13
	9月分	45,217	

合計	78,730

科目　B 研修費

期間	令和5年分

日付	摘要	支出金額	通し番号
10月2日	9月分市内出張旅費	〃 481	交10-1
10月6日	8月分市内出張旅費	〃 3,945	交10-4
	9月分市内出張旅費	〃 1,813	交10-5
10月6日	9月分市内出張旅費	〃 2,886	交10-6
10月10日	9月分市内出張旅費	〃 296	交10-7
10月30日	10月分市内出張旅費	〃 148	交10-15
	10月分	9,569	〃
11月7日	10月分市内出張旅費	〃 2,109	交11-4
11月9日	8月分市内出張旅費	〃 296	交11-5
11月20日	5月分市内出張旅費	〃 851	交11-8
11月22日	7月分市内出張旅費	〃 1,588	交11-10
11月30日	11月分市内出張旅費	〃 74	交11-12
	11月分	4,918	〃

12月7日	10月分市内出張旅費旅費	〃 518	交12-5
	11月分市内出張旅費旅費	〃 1,554	交12-6
12月12日	9月分市内出張旅費	〃 259	交12-10
12月18日	8月分市内出張旅費	〃 1,295	交12-12
12月27日	11月分市内出張旅費	〃 296	交12-16
12月27日	12月分市内出張旅費	〃 666	交12-17
12月28日	11月分市内出張旅費	〃 1,110	交12-28
12月分		5,698	〃
1月18日	1/10開 研修会参加旅費(静岡市)	〃 9,860	B0101
1月4日	7月分市内出張旅費	〃 5,365	交1-1
1月10日	12月分市内出張旅費	〃 592	交1-8

1月11日	12月分市内出張旅費	〃 1,591	交1-10
1月16日	12月分市内出張旅費	〃 740	交1-13
1月29日	1月分市内出張旅費	〃 222	交1-18
1月30日	6月分市内出張旅費	〃 592	交1-20
	7月分市内出張旅費	〃 296	交1-21
1月31日	8月分市内出張旅費	〃 1,295	交1-22
	9月分市内出張旅費	〃 296	交1-23
	1月分	20,849	
2月20日	2/21開催 セミナー 受講 東京出張旅費	〃 16,500	B0201
2月22日	上記 往復新幹線チケット代	〃 14,500	B0201
2月29日	6/5 ボランティア議員研修 東京出張旅費	〃 19,300	B0202
2月1日	1月分市内出張旅費	〃 1,007	交2-1
2月5日	8月分市内出張旅費	〃 3,478	交2-4
	9月分市内出張旅費	〃 4,737	交2-5
2月7日	11月分市内出張旅費	〃 1480	交2-11
	12月分市内旅費出張旅費	〃 296	交2-12
	1月分市内出張旅費	〃 2,331	交2-13
2月8日	1月分市内出張旅費	〃 703	交2-14
2月16日	1月分市内出張旅費	〃 833	交 2-16
2月29日	10月分市内出張旅費	〃 851	交2-18
	2月分市内出張旅費	〃 259	交2-20

	2月分	66,275	
3月1日	2/29 安心協シンポジウム 東京出張旅	〃 20,820	B0301
3月5日	3/9開 講座受講料	〃 15,000	B0302
	上記振込手数料／静岡銀行 浜松営業部	〃 550	B0302
3月11日	上記東京出張旅費・日当代	〃 16,060	B0302
	3/28開 講座受講料	〃 15,000	B0304
	上記振込手数料／静岡銀行 浜松営業部	〃 550	B0304
3月18日	3/17 大阪出張旅費	〃 21,540	B0303
3月26日	3/22開催 セミナー受講費／浜松青年会議所	〃 2,000	B0305
3月29日	3/28-29 視察旅費・現地交通費	〃 16,135	B0304
	3/28-29 視察日当・宿泊費	〃 17,800	B0304
	5/23開「明るい社会づくり運動」総会・講演会出席（静岡市）出	〃 6,902	B0306
3月1日	2月分市内出張旅費	〃 1,850	交3-3
	2月分市内出張旅費	〃 592	交3-6
3月4日	2月分市内出張旅費	〃 2,442	交3-8
3月29日	12月分市内出張旅費	〃 592	交3-15

	2月分市内出張旅費	〃 1,110	交3-21
	3月分市内出張旅費	〃 296	交3-22
3月29日	5月分市内出張旅費	〃 3,478	交3-33
	6月分市内出張旅費	〃 2,738	交3-34
	7月分市内出張旅費	〃 1,554	交3-35
	10月分市内出張旅費	〃 1,776	交3-38
	12月分市内出張旅費	〃 1,036	交3-40
	1月分市内出張旅費	〃 1,480	交3-41
	2月分市内出張旅費	〃 555	交3-42
	2月分市内出張旅費	〃 3,552	交3-46
3月31日	2月分市内出張旅費	〃 1,776	交3-57
	2月分市内出張旅費	〃 592	交3-61
	3月分市内出張旅費	〃 592	交3-62
	3月分市内出張旅費	〃 444	交3-63

	3月分市内出張旅費	〃 1,651	交3-65
	3月分市内出張旅費	〃 814	交3-66
		〃 811	交3-67
	2月分市内出張旅費	〃 6,274	交3-70
	3月分市内出張旅費	〃 888	交3-71
	7月分市内出張旅費	〃 666	交3-73
	8月分市内出張旅費	〃 1,332	交3-74
	9月分市内出張旅費	〃 1,332	交3-75
	10月分市内出張旅費	〃 962	交3-76
	11月分市内出張旅費	〃 518	交3-77
	1月分市内出張旅費	〃 407	交3-79
	11月分市内出張旅費	〃 4,292	交3-82
	12月分市内出張旅費	〃 4,551	交3-83
	1月分市内出張旅費	〃 3,956	交3-84
	2月分市内出張旅費	〃 3,293	交3-85
	3月分市内出張旅費	〃 1,073	交3-86
	5月分市内出張旅費	〃 1,110	交3-88
	6月分市内出張旅費	〃 666	交3-89
3月分		193,408	〃

合計	300,717	〃

支払証明書

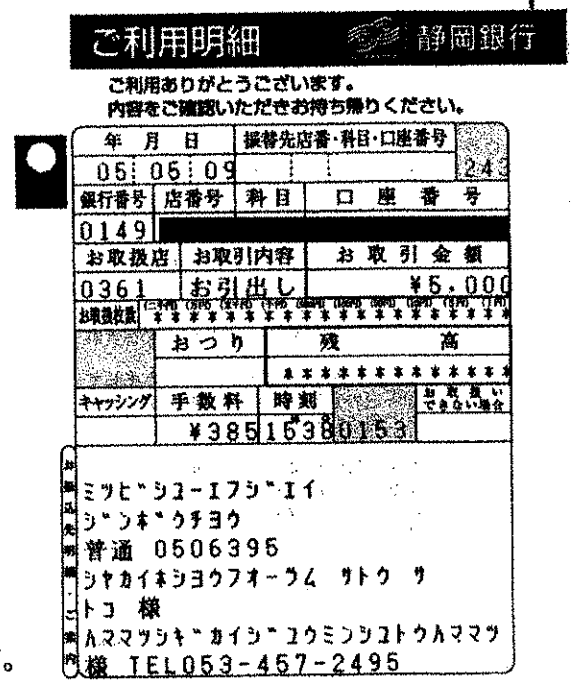
		百万	十万	万	千	百	十	円
金　額				¥	5	3	8	5

但し　5月8日（月）開催
地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー　オンライン参加費
として

オンライン受講者　平野 岳子　議員

①受講料　　5,000 円　　東京都千代田区内神田神田 1-5-11-901
地方から考える「社会フォーラム」事務局

②上記振込手数料　385 円　　静岡銀行 浜松営業部


ご利用明細　静岡銀行

ご利用ありがとうございます。
内容をご確認いただきお持ち帰りください。

年月日	振替先店番・科目・口座番号
05 05 09	[redacted]

銀行番号	店番号	科目	口座番号
0149	[redacted]		

お取扱店	お取引内容	お取引金額
0361	お引出し	¥5,000

お預入れ	おつり	残高
		**********

キャッシング	手数料	時刻	お取扱いできない場合
	¥385	16:38	0153

お振込先明細・ご案内
ミツヒ゛シユ-エフシ゛エイ
シ゛ンキ゛ウチヨウ
普通 0506395
シヤカイホシヨウフオ-ラム サトウ リ
トコ 様
ハママツシキ゛カイシ゛ユウミンシユトウハママツ
様 TEL053-457-2495

06.520.38 Q1　（裏面もご覧ください）

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和　5　年　5　月　9　日

代表者名　鳥井　徳孝 [redacted]

100012

領収書

浜松市議会 自由民主党浜松　様

★　　¥5,000-

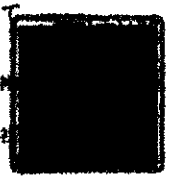
但し、　社会保障セミナー参加費　として

2023年5月8日 上記の金額、正に領収致しました。

税抜金額		4,545
消費税等	10%	455

東京都千代田区内

地方から考える



第28回

社会保険旬報

地方から考える 社会保障フォーラム

＼最新の動向をつかむ／セミナー開催のご案内







2023年 5月8日(月)

講演予定テーマ

「特別養護老人ホーム施設長として地方自治体に望むこと」(仮題)

西山 正徳 氏

社会福祉法人聖生会本部長、一般社団法人メディカル・プラットホーム・エイシア代表理事、株式会社国際医療戦略研究所代表取締役、元厚生労働省健康局長

「介護制度を巡る動き」

林 俊宏 氏

厚生労働省老健局総務課長

「持続可能な社会保障のための地方議員の役割とは」(仮題)

安部 敏樹 氏

株式会社 Ridilover、一般社団法人リディラバ代表。2017年、Forbes 誌が選ぶ「アジアを代表する 30 歳以下の社会起業家 30 人」に選出される。朝のTV情報番組モーニングショーのコメンテーターをはじめ、メディア多数出演。

ポストコロナの日本社会と社会保障について、政策担当者や専門家と一緒に考えてみませんか。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

＼NewPrice!／

会場参加 定員60名 講師・参加者と交流できます！

オンライン からも参加可能 今回、一般の方もご参加いただけます！

参加費 **会場参加：25,000円(消費税込)・オンライン参加：5,000円(消費税込)**
を5月1日(月)までにお振込みください。

会場 <会場参加の方>(貸会議室)AP東京丸の内 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-3日本生命丸の内ガーデンタワー3F
TEL:03-5224-5109 FAX:03-5224-6109
東京メトロ千代田線「二重橋前」駅、都営地下鉄三田線「大手町」駅B6出口直結／JR線・東京メトロ丸ノ内線「東京」駅より徒歩6分

留意事項 <オンライン参加の方> 当日はZoomのウェビナー機能を活用したセミナーを実施していただきます。ウェビナーはミーティング機能と異なり、聴講者の方のカメラや音声は通常はオフになっており、ご質問時のみカメラと音声をオンにできる機能です。PC・タブレット・スマートフォンでご参加いただけます。
詳しくは事務局にお問い合わせください。

<主催> 地方から考える「社会保障フォーラム」事務局
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-5-11 セントラル大手町901 社保研テラーレ内
TEL 03-6273-7772 / FAX 03-3527-1028

<協力> 社会保険研究所 / 社会保険出版社 / ほけんタイムズ

9:50~	受付開始
10:10~	開講の挨拶、オリエンテーション
10:15~11:30	講義1「特別養護老人ホーム施設長として地方自治体に望むこと」(仮題) 西山 正徳氏 社会福祉法人翠生会本部長、一般社団法人メディカル・プラットホーム・エイシア代表理事、株式会社国際医療戦略研究所代表取締役、元厚生労働省健康局長
11:30~12:00	討議(30分間)
12:00~13:00	昼休み ※12:45~12:55 ランチタイムセミナー 「出版物のご案内と弊社の取り組み」協賛(株)社会保険出版社　金子氏
13:00~13:20	聴いてトクする社会保障 「医療機関の機能分化について(仮題)」(株)社会保険研究所 社会保険旬報編集部
13:20~13:30	休憩(10分間)
13:30~14:30	講義2「介護制度を巡る動き」 林 俊宏氏　厚生労働省老健局総務課長
14:30~15:00	討議(30分間)
15:00~15:10	休憩(10分間)
15:10~16:10	講義3「持続可能な社会保障のための地方議員の役割とは」(仮題) 安部 敏樹氏 株式会社 Ridilover、一般社団法人リディラバ代表。2017年、Forbes 誌が選ぶ「アジアを代表する30歳以下の社会起業家30人」に選出される。朝のTV情報番組モーニングショーのコメンテーターをはじめ、メディア多数出演。
16:10~16:40	討議(30分間)
16:40~	終了の挨拶
16:45	終了

<後援> **社会保険旬報** ー医療に関わる全ての情報を提供ー

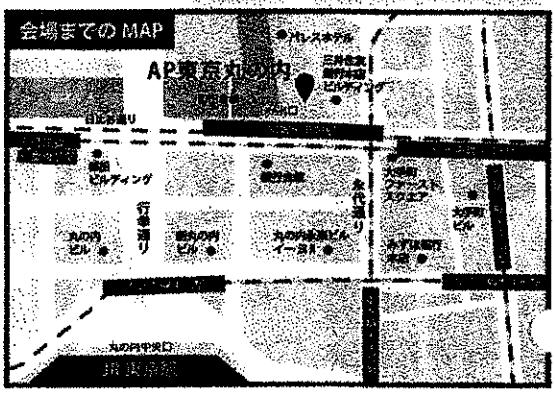
- 医療政策の動向や背景、展望についてわかりやすくお伝えします。
- 介護との連携や年金政策の動きなどもタイムリーに知ることができます。
- 社会保障フォーラムをダイジェストで講師のご講演の要旨と「討議」の概要を掲載。

見本誌をご希望の方、購読のお申込みをしたい方は
(株)社会保険研究所までご連絡ください。TEL：03-3252-7901(代)

Web 版
無料会員募集中！

Web医療と介護
https://info.shaho.co.jp/iryou/

SINCE1973 年金時代
https://info.shaho.co.jp/nenkin/



※東京駅から徒歩6分

よろしくご宣取くださいませ　**第 28 回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー 参加申込書**　4/18 自民党浜松

お名前	ふりがな ひらのたけこ　じゆうみんしゅとう はままつ　ひらのたけこ　なちの たけこ 浜松市議会 自由民主党浜松　平野 岳子	所属議会 浜松市議会
ご住所	〒430-8652 〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2	電話番号 053-457-2495 FAX 053-457-2494
参加のご希望	□ 会場　☑ オンライン (いずれかに○をつけてください)	Eメールアドレス(必須) [redacted]

※ご記入いただいた個人情報は、フォーラムにご参加いただく皆様へのご案内・情報提供の目的に使用させていただきます。管理にあたっては、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、漏えい、紛失、毀損または不正アクセス等の防止に努めます。

お申し込み先 FAX **03-3527-1028** または HP **https://tirare.jp/** セミナーお申し込み よりお申し込みください。

※ お申し込みをいただいた方には事務局から受付完了のメール(アドレス記載のない場合は FAXにて) をお送りいたします。3日経っても届かない場合はご一報ください。事務局からメールが届きましたら、メールに表記の口座へ参加費をお振込みください。オンライン参加の方には追って接続方法を個別にご連絡いたします。

お問い合わせ先 TEL **03-6273-7772** ご不明な点は、左記までお問い合わせください。



参加費お振込みに関しまして

ご参加費用5,000円を次の口座にお振込みくださいます様お願い申し上げます。

【 振込先 】三菱UFJ銀行 神保町支店

【口座番号】（普）０５０６３９５

【振込口座名】社会保障フォーラム代表 佐藤聖子

（シャカイホショウフォーラムダイヒョウサトウサトコ）

.....

＊領収証はいつものとおり「浜松市議会 自由民主党浜松」様とご用意いたします。

変更がございましたらご連絡くださいますようお願いいたします。

┌◇◆地方から考える「社会保障フォーラム」事務局◆◇┐

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-5-11-901

（株）社保研TIRARE内　　URL: https://tirare.jp/

03-6273-7772 FAX: 03-3527-1028

Email: [redacted]

└◇◆◇—◆—◆—◆—◆◇◆—◆—◆—◆—◇◆◇┘

ご不明な点などは[redacted]までお願いいたします。

＊このメールに添付は付けておりません。ついている場合はお手数ですが削除してくださいますようお願いいたします。

B0901

支払証明書

		百万	十万	万	千	百	十	円
金　額			¥	4	0	0	0	0

但し　令和 5 年 9 月 15・16 日(金・土) 開催
研修会時 講師謝礼金（按分）　として

按分支払内訳　講師料（2 名分）　100,000 円の内
自由民主党浜松　須藤議員　40,000 円
公明党　黒田議員　40,000 円
〃　幸田議員　20,000 円

講師料支払内訳
[redacted]
髙木　優治氏　50,000 円
工藤久美子氏　50,000 円
※源泉徴収をしていない為、講師 2 名には確定申告で講師料に係る所得税を支払っていただく旨、説明済み。

上記の金額を支払ったことを証明します。

令和 5 年 9 月 [redacted]

代表者名　鳥井　徳幸 [redacted]

領　収　証

様　No.＿＿＿＿＿＿

★ 100,000

但　講師代として

20○3年 7月 14日　上記正に領収いたしました

[redacted]

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収入印紙

D211R18

9/15, 16　研修会

講師謝礼金　按分

公明党　黒田議員　40,000

〃　幸田議員　20,000

自民党　須藤議員　40,000

※領収書原本は
「浜松市議会公明党会」
にて保存。

令和５年９月 15 日（金）13:00～14:30
新宿区人と猫と調和のとれたまちづくり連絡協議会顧問
NPO 法人アナイス理事
高木優治　氏

新宿区における地域猫対策の分類について
相談者さん別の取り組みについて伺う。
餌やりさんから、町会役員さんから、苦情者から、ボランティアさん別に伺い、特に、餌やりさんからの相談では具体的に町会と連名でチラシをつくり町会の掲示板などに掲示したり、回覧でチラシを回したりする様アドバイスする様である。
また、地域別の取り組みでは、住宅街や商店街、神社・寺など、公共の管理地、市立公園などの場合について話があり，特に、商店街のケースでは、飲食店も多く、猫に餌をあげる人も通行人は商店利用者・従業員さんなど特定することが難しく様々な思いの店主がいる事で、猫をめぐって対立するケースがあり，商店会としても悩んでいる課題であるとのことでした。
しかし、対策を実施するとことで「地域猫対策」が「商店街の活性化」につながり、現在は、「商店街祭りの一環として猫祭り」ご開催されるまでになった商店街もあるとのこと。
以上、様々なケースでの対策を伺ったが具体的で大変に勉強になったレクチャーであった。

令和５年９月 16 日（土）16:00～18:00
NPO 法人ねこだすけ代表理事
工藤久美子　氏
新宿区人と猫と調和のとれたまちづくり連絡協議会顧問
NPO 法人アナイス理事
高木優治　氏
工藤久美子　氏

行政不作為と地域不作為にならないためにと地域ねこ対策三者協働についてレクチャー
初めて聞く話しでした。
そもそも、どうしてたくさんの野良猫がいるのかということについて、明治時代に北里柴三郎博士がペストの蔓延を防ぐために、国民に対し「一家に一匹猫を飼うこと」を奨励したと。さらにネズミとりのうまい猫のコンクールまで行

われ、国家をあげて推進したと。その効果は大きくペストの蔓延被害にみまわれることはなかったものの、当然の成り行きとして、その後の猫の数は爆発的に増えたという、現在の野良猫問題の一つと言えると。

行政不作為について、現在の動物愛護法の罰則「遺棄、衰弱虐待、殺傷」も行き届いているが、それ以前、昭和48年にはすでに動物保護法が施行されこれにも罰則があり「遺棄、虐待」は3万円以下の罰金が科料であったと。
この動物保護法や改正されてからの動物愛護法の広報、執行を怠ったという点において明確な行政不作為どあると。

地域不作為について
不妊、去勢手術をせず、外に自由に外出させている猫の飼い主が30〜40年前は沢山いた。

「ご近所だから余計なことを言って面倒を起こしたくない」など地域住民が地域の問題として認識を持たず、無関心のまま手段を講じなかった点において、これも明確に「地域不作為」と言える。

工藤氏がここ一年訴え続けているテーマは三者協働。

住民組織、管轄行政、ボランティアが協働して問題解決を図れば、いかなる問題も解決可能であると。野良猫に関して、その問題の根源は明らかに「行政不作為」と「地域不作為」であり、そうであるなら尚更地域住民、行政、ボランティアの三者が協力して問題解決を図ることは極めて当然のことと結論づけられた。

さらには、絶対に避けないといけないのは二者協働。　多くの場合、ボランティアグループなどに行政が野良猫問題の解決をはから仕組みに走りがちであるが自治会など住民組織をいかに組み込むかが最大のポイントとなるということでした。

高木優治　氏

地域猫対策について
地域猫対策とは、地域で取り組む野良猫問題解決対策のことで、地域における野良猫をめぐるトラブラを解決させるための仕組み作りのことで、単なる猫擁護・動物擁護ではなく、地域環境の保全を目指して取り組むものであり、猫を迷惑動物として排除するのではなく、人と猫が共生することができるまちづくりを目指すものであり、それゆえに「地域・猫対策」と表現した方が誤解がないかもしれないとのことで、この表現は、目から鱗が落ちる様な話しであった。

次に、地域猫対策は、TNRプラスM（見守り）との話があり、TNRが地域猫対